

関西大学北陽高等学校・北陽中学校  
2019 年度学校評価報告書



2020 年 3 月

# 目次

1	本校の概要	1
	(1) 沿革	
	(2) 建学の精神、教育目標	
2	今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策	2
	重点目標①	2
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標②	3
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標③	4
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
	重点目標④	5
	・取組計画及び評価指標	
	・自己評価	
3	アンケートの実施状況について	6
4	アンケート結果の分析	6
	・中高教員対象（組織・個人）学校評価	
	・高校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
	・中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価	
5	学校関係者評価委員会からの評価結果	11
	(1) 自己評価の結果を受けて	
	(2) アンケート結果について	
	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授 岡田忠克	
6	校長の意見書	14
7	アンケート結果	15

## 1 本校の概要

### (1) 沿革

①1922年6月5日に、関西法律学校という専門学校から旧制大学へと昇格をし、関西大学が誕生する。大学昇格の立役者となったのは、当時の財界の大御所といわれた山岡順太郎氏（後の総理事、学長）である。順太郎氏は「知識をいくら集積しても力にはならない、断片的な知識をつなぎ合って活性化させ、社会に応用できて初めて力になる」という「学の実化（<sup>じっげ</sup>学理と実際の調和）」を提唱した。この考え方は、関西大学の学是であり、教育理念として現在も生きている。

②それから3年後の1925年、関大北陽の母体となった北陽商業学校が設立される。設立者は山岡倭（やまと）氏であり、順太郎氏の長男である。初代校長の糸島實太郎氏は関西大学出身で北陽を設立するに当たって、順太郎・倭父子の献身的な援助を受けることになる。

③1946年に国の戦時非常措置令により工業学校への転換を余儀なくされたため、糸島校長は福武工学校との統合によって北陽の存続を図り、時局の要請に応えようとした。福武平十郎氏（北陽の初代理事長）は糸島校長の「北陽の法灯だけは絶やさないでほしい」という願いを聞き入れ、北陽工業学校と改称。終戦後、工業は商業に復帰し、さらに学制改革により北陽高等学校と改称した。

④2008年、学校法人関西大学と学校法人福武学園が合併。関西大学北陽高等学校と改称。2010年には関西大学経営審議会のすすめもあり、北陽中学校を開設。2020年の4月には関西大学北陽高等学校第13期生、関西大学北陽中学校第11期生の入学式が行われる。

### (2) 建学の精神、教育目標

「知徳体の調和のとれた人間性の育成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、「自ら考え判断し、責任を持つ」ことを教育目標としている。この目標を実現するため、本校では「知育」「德育」「体育」を次のような観点で捉えている。

#### ① 知育

基礎学力の充実を図り、自ら考える習慣を培い、自己の生き方を模索する知性と科学的なものの考え方を養う。

#### ② 德育

生活規範と社会のルールを遵守する大切さを学び、あらゆる学校生活や行事を通して自己の品性を高め、他者と共に生きるために必要な高い徳性を養う。

③ 体育

健康な身体と健全な精神を養うことを通じて、正しい状況判断と積極的かつ適切な行動ができるよう、体力・気力・判断力を育てる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす。

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア スローラーナーに対し、高等教育に必要な学力を身に付けさせるために学力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スローラーナーへの対応」項目で保護者対象アンケート肯定率 60%、生徒対象アンケート肯定率 70%以上</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校において、2019 年度より、朝の SHR がなくなり、小テストは、各教科、授業の中で適宜行った。また、スローラーナーに対しては、定期テスト前を中心に個別指導で学力向上を図った。</p> <p>中学校では、2018 年度から導入したクラウド型学習システムを効率的に活用しながら、小テストや課題テストなどを通して、学力をチェックし指導した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>(高校) 保護者対象アンケート：57% (△)          生徒対象アンケート：66% (△)          (中学校) 保護者対象アンケート：59% (△)          生徒対象アンケート：82% (◎)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>高校、中学で実施している習熟度別授業において、モチベーションが上がるシステムを検討し、生徒一人ひとりにあった授業を実践していく。また、高校特進コースにおいて、定期テスト後だけでなく、学習合宿を見直し、成績不振者補習に形態を変え、サポートしていきたい。中学校では、水曜日、金曜日の7時間目をなくし、個別指導の機会を増やしていく。</p>
<p>イ 基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関西大学への内部推薦の合格率 90%以上</li> <li>・特進アドバンスクラスから上位国公立大学を中心に、15 名</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>ICT 教育を導入するなど多様な学びを身に付けさせるとともに、関西大学の内部進学に必要な学力を養うための授業を展開した。その中で、高校3年では、卒業見込者入試対策、国公立大学志望者に対してはセンター試験対策を中心に行った。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部進学率88% (△) 希望者287名中 252名合格</li> <li>・神戸大2名 兵庫県立大2名 横浜国立大 大阪教育大 京都教育大 滋賀大 富山大 合計9名 (×)</li> </ul>

の合格	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>内部進学率は、2018 年度とほとんど変化はなく、北陽中学出身者の内部進学率も上昇は見られなかった。来年度からの中学校の指導目標を「先取りから定着へ」に、スローラーナーの底上げを図っていく。</p>
-----	---

(2) 重点目標②：多様な学びを身に付けた生徒の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア iPad を利用した授業や学習支援ソフトを有効に活用し、ICT 教育を推進する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を利用したアクティブラーニングをテーマに研究授業を各教科、年1回実施し、ノウハウを蓄積する。</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>高校全学年（特進、文理）に iPad を導入し、また、プロジェクトや Wi-Fi の環境が整う中、研究授業を実施し、それを教科で共有しながら、ICT 教育を推進した。中学校では、デジタル教材を利用するなど、生徒に興味・関心を持たせた。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>5教科、保健体育、情報科で、合計7講座の研究授業を実施した。(○)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>ICTを活用したアクティブラーニング型研究授業の成果を、報告書にまとめ、今後活かす。そして、来年度以降の研究授業のテーマを新たに設定し、研鑽を積んでいく。また、中学校では、共有のノートパソコンを有効に活用し、ICT教育を推進していく。</p>
<p>イ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、質の高い学びを実現する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目で高校生アンケート肯定率 90%、中学生アンケート肯定率 80%以上</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>研究授業を通して、「主体的・対話的で深い学び」の必要性は、教科で理解しており、限られた時間の中で、興味、関心を高める授業を展開している。また、教員自身が研鑽を積むために、個人的に研修に参加している。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>授業評価「生徒参加・対話型の授業」の項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生アンケート肯定率 95% (◎)</li> <li>中学生アンケート肯定率 93% (◎)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>2019 年度、試験的に導入したソフト「ロイロノート」を来年度、本格的に導入し、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を推進していく。中学校では、iPad が導入されていないが、2023 年度までに、公立中学校では一人一台の端末を配備することが決定されたため、本校でも導入に向けて検討し、「主体的・対話的で深い学び」を本格化していきたい。</p>

(3) 重点目標③:「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 外部機構のプログラムに応募し、問題解決学習、課題提案学習に取り組む。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外部機構のプログラムに応募し、採択される。</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>2019年度で、アマモ場再生活動は終了するため、「海洋環境を学べるカリキュラムの開発」、「環境保全に対する意識を高め対外的に発信できる人材の育成」に取り組んできた3年間の活動報告を行った。また、活動の成果をG20大阪サミット2019「海は輝くいのちの源」にて発表した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>海洋教育パイオニアスクールプログラムに1件採択された。(○)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>2020年度の新しいテーマ「100年後の海へ～私たちに、今できること～」が採択された。2018年度までの経験を活かし、保健の授業を中心に様々な環境問題が海洋問題に繋がっていることを理解させ、SDGs 14「海の豊かさを守ろう」の達成に向けて「海洋環境にやさしいライフスタイル」を提案できる能力を身に付けさせる。また、その学びを、ICT機器を利用し発信できる人材の育成に取り組んでいく。</p>
<p>イ 英語教育による基礎・基本を徹底し、実践的コミュニケーション能力を育成する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学3年の合格目標を英検準2級10%、3級80%とする。</li> <li>高校3年の合格目標を英検2級＝特進アドバンス65%、特進・文理15%、準2級＝特進アドバンス90%、特進・文理60%とする。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>昨年同様、中学校3年間と高校1年・2年の授業において、時間の許す限り4技能のバランスを考慮した指導を進めている。特に、中学校1年・2年や高校1年の特進コースに日本人とネイティブ講師のTT授業を導入し、ライティングに重点を置いた指導を行っている。また、放課後等に英検2次試験に向けた個別指導も行っている。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学3年の合格率 準2級 19% (◎) 3級 87% (◎)</li> <li>高校3年の合格率             <ul style="list-style-type: none"> <li>2級＝特進アドバンス 68% (○) 特進 15% (○)</li> <li>文理 24% (◎)</li> <li>準2級＝特進アドバンス 92% (○) 特進 58% (△)</li> <li>文理 76% (◎)</li> </ul> </li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>英語科の取組の成果が出て、高校の特進、準2級以外は合格目標を達成した。さらに、授業内外におけるICT機器のさらなる有効活用を検討し、生徒がインプットだけでなく、アウトプットにも、より主体的に取り組めるようにしたい。具体的に</p>

	は、高校1年特進コースでオンライン英会話を導入する。
--	----------------------------

(4) 重点目標④：大学とともに取り組む「次世代の人材育成」

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 大学との連携で、学問の一端にいち早く触れ、知的好奇心を高め、大学での「幅広い学び」を体験する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中高大連携授業の実践」項目で保護者対象、生徒対象アンケート肯定率80%以上</li> </ul>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>2019年度、新たに大学の教育推進部と連携し、大学での「幅広い学び」を体験するため、ノートテイキング(高3関大進学者)クリティカルシンキングワークショップ(高2希望者)を実施し、スライドポスター作成スキルアップ(高1希望者)を計画した。また、中学校では、防災教育(中1)、研究室体験、(中2)模擬裁判(中3)を実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>(高校)保護者対象アンケート：82% (○)          生徒対象アンケート：82% (○)          (中学校)保護者対象アンケート：80% (○)          生徒対象アンケート：87% (◎)</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>大学との連携で、高校の取組が年々増加しているが、今後は、より生徒に役立つプログラムを精査し、充実を図っていききたい。一方、中学校での大学との連携プログラムは、生徒の興味、関心の高いテーマを取り上げるなど、改善して、今後も実施していきたい。</p>
<p>イ スポーツコースの特性と進路希望を考慮し、大学と連携する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校1年～3年で体育系大学を含め年3回、大学訪問を実施する。また、スポーツコース独自の大学進学相談会を年1回実施する。</li> </ul>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>2018年度、進路を選択する上で役立つ体育系大学(1校)と総合大学(2校)を生徒が訪問した。高校3年生では、受験可能性のある大学を訪問し、大学相談会も開催した。また、主体的に進路実現を果たすためのグループワークを取り入れ、進学意識を高めた。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校2年で2回、高校3年で1回、大学訪問を実施した。(○)</li> <li>・高校3年で独自の大学進学相談会を年1回実施した。(○)</li> </ul> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>来年度、スポーツコースから関西大学への特別推薦入試が、人間健康学部だけでなく政策創造学部でも実施される。希望者には、政策創造学部の連携セミナーに参加をすすめるなど、多様な進路希望に応えていきたい。</p>

### 3 アンケートの実施状況について

関西大学の併設校で構成される「学校法人関西大学自己点検・評価委員会 併設校部門委員会」において、次の観点で併設校が共通に学校評価を行うこととした。

- ①「教員対象（組織）のアンケート」における質問項目設定は、併設校としての共通性と独自性の両者を尊重し、併用することとした。共通項目を14項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ②「保護者対象」及び「生徒対象」とともにアンケートを行うこととし、併設校間での共通項目をそれぞれ13項目定めるとともに、併設校それぞれ独自の項目を設定した。
- ③上記の3種類の対象者別アンケートの評価項目とその表現は、互いにリンクさせた。
- ④「学校関係者評価」を各併設校において実施するに当たり、学校関係者評価委員会を立ち上げ、ステークホルダーと呼ばれる人たちに建設的な意見を求め、学校教育の充実と発展にご協力をいただいた。

#### ⑤実施日程

##### I 教員対象学校評価

「個人」及び「組織」 12月16日（月）～12月21日（土）

##### II 保護者対象学校評価

全学年 1月8日（水）～1月22日（水）

##### III 生徒対象

全学年 1月8日（水）

#### ⑥本報告書作成にあたって

上記のアンケートが実施された後は速やかにデータの集約が行われ、統計資料としてまとめられた。それをもとに、評価委員からそれぞれの立場で分析をし、評価委員から出された意見をまとめた。最終的には、そのまとめの資料を使って、再度分析と改善案についての検討を加え、本報告書を作成するに至った。

### 4 アンケート結果の分析

#### ◆ 中高教員対象 学校評価＜組織面、個人面＞

##### ・組織面の自己評価項目の平均

2017年：2.97    2018年：2.91    2019年：2.88

##### ・個人面の自己評価項目の平均

2017年：3.12    2018年：3.11    2019年：3.07



組織面、個人面の自己評価項目の平均は、2017年に上昇し、ここ2年は少しずつ下降しているが、大きな変動はない。ただ、個人面の自己評価が高い傾向は、続いているため、会議や先生方との面談で意見を吸い上げ、各課題において、組織的に取り組める学校づくりを進めていかなければならない。

### (1) 学校運営について<組織面>

#### ①ミドルマネジメントによる組織運営

「主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。」

2017年：2.91    2018年：2.98    2019年：2.83

#### ②会議の有効性

「職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。」

2017年：3.02    2018年：2.83    2019年：2.85

ミドルマネジメントによる組織運営の評価が年々上昇していたが、2019年度はA評価が少なく下降した。一方、会議の有効性については、2018年度に比べA評価が多く、僅かに上昇した。学校運営において、上記の項目は、組織として重要な項目で3.0の評価を目標としたい。そのためには、経験を積んだ先生を主任に積極的に登用し、人事を活性化するとともに、学校方針を明確にし、職員会議までの各会議において、活発な議論が行える体制を作り出したい。そして、管理職と教員、教職員同士の連携において、さらなる協力体制の構築に努めていきたい。

### (2) 教育内容、生徒支援について<組織面、個人面>

#### ①スローラーナーへの対応

この項目について、2017年度に上昇し、ここ2年下降している。スローラーナーへの対応については、中学校では、補習のほか、eラーニングなどを導入し、生徒一人ひとりの学力に応じた指導を行っている。高校においては、定期考査前を除き、放課後、部活に参加する生徒が多く、個別に対応することが難しいため、対策を考える必要がある。

#### ②中高大連携事業の実践

関西大学との教育連携に対する理解を深め、積極的に協力しているという質問に対しては、2017年から3年間、組織面、個人面とも3.0を上回っており、大学併設校としての特色づくりに繋がっている。その中で、高校の進路教育においては、2019年度、新たに3つの連携セミナーを行い、充実を図っている。

### (3) 生徒支援について<組織面、個人面>

#### ①家庭との連携状況

生徒が、充実した学校生活を送る上で、家庭との連携は不可欠である。組織面の自己評価

では、2.83 と僅かに上昇し、個人面の自己評価においては、昨年に続き 3.0 を上回った。これからは、一人ひとりの努力だけではなく、主任とも連携しながら組織として取り組む必要がある。

## ②部活動支援状況、学校行事体制、進路指導体制

2019 年度は、部活動支援状況と学校行事体制は、組織面、個人面とも 3.0 以上の高い評価となった。これは、教員が継続して組織的に、かつ、積極的に取り組んでいる結果であり、中学校、高校とも、学校生活において、保護者の高い満足度となっている。一方で、進路指導体制は、2018 年度は 3.0 を上回っていたが、2019 年度は 3.0 を下回った。高校 3 年生の内部進学制度変更に一因があると考えられる。

## ◆ 高校（保護者対象・生徒対象）学校評価

### （１）「学校評価重要 8 項目」の推移グラフより

#### ①学園生活の満足度（学園生活）

保護者：2016 年度以降、やや下降傾向にあるが、2019 年度は前年度と同じ結果であった。

3.23～3.35 の高い評価で推移している。

生徒：2017 年度(3.21)を除いて、ほとんど変化がない(2.95～2.98)。

#### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：2015 年度以降、大きな変化はないが、やや下降傾向にある(2.99～3.07)。

生徒：2017 年度(2.86)が突出しているが、2019 年度は例年よりはやや高めであった(2.73)。

#### ③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：2015 年度以降、大きな変化はないが、やや下降傾向にある(2.81～2.92)。

生徒：2017 年度(3.08)を除いて、ほとんど変化がない(2.82～2.87)。

#### ④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2015 年度以降、大きな変化はないが、やや下降傾向にある(2.62～2.73)。

生徒：2017 年度(3.07)を除いても、2019 年度はやや下降傾向にある(2.81)。

#### ⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2015 年度以降、大きな変化がなく、3.0 以上の評価で推移している(3.10～3.22)。

生徒：2015 年度以降、大きな変化がなく、3.0 以上の評価で推移している(3.02～3.17)。

#### ⑥進路指導

保護者：2015 年度以降、ほとんど変化がない(2.84～2.91)。

生徒：2017 年度(3.21)が突出しているが、2015 年度以降、全体的には上昇傾向にある(3.03)。

## ⑦部活動支援

保護者：2015 年度以降、大きな変化はなく、3.0 以上の評価で推移している(3.09～3.18)。

生徒：2017 年度(3.27)が突出しているが、2015 年度以降、全体的には上昇傾向にある(3.22)。

## ⑧学校行事指導体制

保護者：2015 年度以降、ほとんど変化がなく、3.0 以上の評価で推移している(3.14～3.18)。

生徒：2015 年度以降、上昇傾向であり、3.0 以上の評価で推移している(3.12～3.27)。

## (2) 分析

学園生活の満足度と教育方針の理解の項目では、保護者の評価の方が高く、特に満足度では、A評価の方が多くなっている。生徒の評価は保護者よりもやや低めではあるが、その推移には関西大学への内部進学の結果が影響しているように思われる。この影響は、学力指導に関する項目及び進路指導に関する項目の生徒の評価にも表れており、特にスローラーナーへの対応についての評価からは、保護者、生徒ともにさらなる対応を望んでいることが感じられる。また、進路指導の面では、卒業見込み者入試における科目数変更や主体性の評価導入など、次年度以降の制度についての指導には、よりきめ細かく取り組む必要がある。

生徒指導に関する項目については、保護者、生徒ともに高めの評価で推移しており、指導方針が理解され、意識していることがうかがえる。ただし、通学時のマナーに関する苦情などを考慮すると、まだまだ指導すべき項目ではある。

クラブ活動や学校行事など課外活動の項目でも、保護者、生徒ともに高い評価で推移しており、特に近年は生徒のA評価が高い割合となっている。方針として掲げる「学校行事の充実」「クラブ活動の躍動」を意識した指導が生徒、保護者にも浸透していると考えられ、今後もより一層意識して取り組むべきと考える。

## ◆ 中学校（保護者対象・生徒対象）学校評価

### (1) 「学校評価重要8項目」の推移グラフより

#### ①学園生活の満足度

保護者：2017 年度が 3.18 と上昇したが、2019 年度は 2015 年から平均的に 3.0 程度で推移している。

生徒：2017 年度は過去初めて 3.0 台となったが、2019 年度 3.19 と大きく上昇している。

#### ②私学の独自性（教育方針・教育目標）

保護者：B評価が極端に多く、3.0 をキープしている。これは、十分に理解していないことがうかがわれる。

生徒：ここ数年 2.6 台を上下している状況であるが、2017 年度以降は、2.82、2.83 と上昇傾向である。

### ③知育（学力向上における組織的な取組）

保護者：2016 年度を底に年々上昇傾向である。ICT 機器の採用や e-ラーニングの実施などが評価されているものと思われる。しかし、2019 年度は下降傾向となっている。

生徒：2018 年度は、2.92 と少々下降傾向であったが、2019 年度は、3.14 と上昇となっている。

### ④知育（スローラーナーへの対応）

保護者：2016 年を底に上昇傾向であったが、2018 年度を境に少々下降となっている。e-ラーニングによる家庭学習の工夫が必要であると思われる。

生徒：2016 年度を底に 3.20 と上昇傾向である。

### ⑤徳育（社会規範の理解とモラルの醸成）

保護者：2017 年度は一旦上昇したが、2018 年度は下降となり、2019 年度は過去最高の上昇となった。

生徒：2017 年度より上昇傾向である。生徒指導部よりの注意アナウンスが多かったのが一因と考える。

### ⑥進路指導

保護者：A 評価が極端に少ないが A・B 評価で 50%以上で良い結果であった。平均的にはほぼ例年通りの数字となっている。

生徒：過去年度は 2.6 台であったが、2017 年度より上昇傾向となり、2019 年度は 3.02 であった。

### ⑦部活動支援

保護者：2017 年度を底に上昇傾向となる。

生徒：2016 年度が底となり、年々 3.0 に近づくほどに上昇し、2019 年度は 3.16 と上昇となっている。

### ⑧学校行事指導体制

保護者：例年 3.0 台と上位で安定しており、特にここ 3 年上昇傾向となっている。

生徒：2016 年度までほぼ横ばいであったが、2017 年度以降上昇傾向となり、2019 年度は、3.36 と最高となる。

## （2）分析

全体として 2018 年度よりほとんどの項目で、上昇傾向となっている。補習指導や学力向上は、保護者が下降気味であるのに対し、生徒は大幅上昇しており、保護者と生徒間でギャップが見られる。昨年同様、生徒本人の学習に対する意識があまり感じられないのが、課題と思われる。

中学生の学校の教育方針に対する理解への評価結果が低かったが、A 評価の人数が年々増加していることから、少しずつ浸透してきているようである。教員が子供の教育のために信念を

持つての指導を心がけているが、保護者の教育や学校に対する期待と異なるため、意見の相違も年々多くなりつつあることは変わりがなく、学校方針を理解していただき、学校に協力していただくことが必要と考える。

進路指導については、A評価でみたときに、生徒と保護者間でギャップが感じられる。生徒は、面談や日々の中で指導を受けているが、保護者に対しては中3での全体進路説明会のみである。三者面談などを利用して個別に話をする機会を設けているが、家庭での会話を期待する。

クラブ活動においては、保護者はB評価が非常に多く、生徒たちはA評価がB評価同様多く支持されている。保護者と生徒間でのとらえ方にギャップが生じている。

## 5 学校関係者評価委員会からの評価結果

### (1) 自己評価の結果を受けて

学校関係者評価委員会では、最初に、教員、保護者、生徒対象の学校評価について分析を行った。その後、2019年度の重点目標である①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」について、取組状況、達成状況、今後の改善方策について、意見交換を行った。重点目標は、3年間、原則として同一とし、2018年度、新たに目標を設定し、2年目となる。

評価委員から、高校に進学すると中学校の時と違い、積極的に自宅学習をするようになったという意見が出された。中学校では、特に手厚い指導を行っているが、高校生になると、大学への進学意識が高まり、自発的に学習に取り組んでいると考えられる。学校としても、様々なプログラムを通して、進路意識を高め、学力向上を図っていきたい。アンケート項目では、学力向上や補習授業の項目の評価において、保護者が低く、生徒が高くなる特徴がある。これは、保護者がもっと勉強させてほしいという思いがあり、そのことが、アンケート結果に表れているという意見が出た。今後は、懇談会や進路説明会だけでなく、学校の取組をタイムリーに保護者に発信していく工夫が必要である。他の項目に関しても、保護者と生徒の評価が乖離している項目があるという指摘があった。これに関しては、評価委員から、直接評価者の生徒と、間接評価者の保護者には、項目によって差が出るという考えが示された。

教育方針として、中学校は、関西大学をベースに国公立大学進学を目標とするのは、現実的でないという意見が出された。これについては、中学校開校10年を迎え、この10年間を検証し、来年度より、発展的な学習から基礎・基本を重視した指導に切り替える。また、英語・数学では、中学3年生で習熟度別クラスを編成し、高い学力の生徒には、ハイレベルな授業を展開していく。

生徒指導面では、SNSによる生徒の人権侵害や、いじめの問題など、マスコミで取り上げられることが多いが、生徒への教育、指導はどうしているのかという質問が出た。これに関しては、以前から、生徒指導部で中高6年間、高校3年間の計画を立て、外部の講師を招き、啓蒙活動を行っている。保護者に配布する行事予定には記載しているが、HPなどを通して取組を発信していくことも必要である。

部活動では、高校ではスポーツコースがあり、クラブのレベルが高く、クラブに入部をしない生徒が多いが、一般の生徒も入部できるクラブを創部できないかという要望が出た。活動場

所、顧問の人数も限られているため、現状よりクラブを増やすことは難しいと理解を求めた。

## (2) アンケート結果について

学校関係者評価委員として、関西大学北陽高等学校・中学校の2019年度の評価について、2019年度の学校教育計画、中高(教員対象)学校評価、高等学校(保護者対象・生徒対象)学校評価、中学校(保護者対象・生徒対象)学校評価の結果、ならびに本委員会での議論をもとに、以下、意見を述べる。高等学校・中学校の教職員におかれては、今後の検討課題としていただきたい。

重点目標である「1. 基礎的な・基本的な『確かな学力』を修得し、進路実現を果たす」では、スローラーナーに対する高等教育に必要な学力の修得支援に引き続き取り組まれており、2018年度同様、保護者、生徒の肯定率も高く一定の成果がみられている。関西大学への内部進学合格率については、合格率90%の目標に対して、88%と目標値には届かないが、昨年より改善が見られている。中学校からの進学者について改善の余地もみられ、学力向上に向けての生徒のモチベーションについて工夫されたい。上位国公立大学への進学については、一定の成果もみられているところである。学力向上について意識の高い生徒については、モチベーションの維持等、引き続き教育内容の改善と適正な時間配分に向けて努力されたい。

「2. 多様な学びを身に付けた生徒の育成」については、iPadを活用した研究授業の実施、各教室へのプロジェクターの設置等、ICTを活用した教育の展開がなされている。2019年度では、ICTを活用したアクティブラーニングをテーマに研究授業を各教科、年1回実施することを掲げ、5教科、保健体育、情報の合計7講座において実際に研究授業が行われている。先生方におかれては、情報社会、知識基盤型社会における新しい時代の教育方法についてさらに検討と改善を進めていただきたい。

「3. 『コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力』を養う教育」では、外部機構のプログラムに採択され、その資金を活用し海洋教育パイオニアスクールプログラムとして継続的に実施されている取組がある。生徒会執行部を中心に、生徒自身の興味関心により主体的な活動や学びにつなげていくことが企図されているアマモから繋がる大阪湾再生への取組は評価されるものである。今後も学校内だけでなく、学外での学びの効果について強く意識していただき、外部機関、関西大学の各学部・部局との連携について引き続き検討されたい。

「4. 大学とともに取り組む『次世代の人材育成』」では、中大連携プログラム、高大連携プログラム、高大連携セミナー「関大の知にふれる」、卒業生のお話を聞く等の取組がなされている。2019年度の評価アンケートでは、保護者、生徒とも肯定率80%以上を目標値としており、高校、中学とも目標値をこえる結果となった。関西大学で何を学ぶのか、学びたいかの意識づけや動機づけには、各学年や学齢の理解に応じた適切な情報提供と個別の生徒の興味関心についての把握、教員と生徒、保護者との密なコミュニケーションが必須である。生徒本人の関心や将来の方向性、実際の学びの内容の間にミスマッチが起こらないよう、ポートフォリオの活用等を通じて、引き続き生徒個別のニーズの把握に努めていただきたい。

中高(教員対象)学校評価では、学校運営については、ミドルマネジメントによる組織運営、会議の有効性について、この2年間、下降傾向はあるものの組織面、個人面とも高い評価がなされている。学校長の見解からもあるように、会議や面談等で意見を吸い上げ、教員一人ひと

りが学校運営に携わっていけるように、組織運営に一層の配慮と工夫をお願いするものであり、引き続き、北陽高等学校・中学校の組織文化の醸成に努めていただきたい。

教育内容については、スローラーナーへの対応について、学校としては、補習学習の強化に努めているところであるが、生徒や保護者との理解の相違が見られているのも事実である。特に高校においては、部活動との両立が難しいこともあり、個別対応に一層の工夫が必要となる状況である。引き続き課題点について検討されたい。

高等学校における保護者、生徒対象の学校評価では、学校評価重要8項目の保護者の評価は概ね高水準で推移しており、これまでの取組が評価されているといえる。引き続き、高等学校においては北陽の政策ビジョン、目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。ただ一方で「補習授業への取組」について、生徒によるアンケート結果と保護者との意識のズレも見られ、生徒による評価が昨年度より下がっている。先ほど指摘したように個別対応についてさらに改善のための工夫をお願いしたい。

中学校における保護者、生徒対象の学校評価については、学校評価重要8項目の保護者の評価は、前年度に比べ多くの項目において引き続き好転している。一方で、2019年度においては、「学力向上のための組織的な取組」「補習授業の取組」の2点について保護者の評価が低下している。高評価については、学校長はじめ教職員が、重要項目の改善点に組織的に着手されたことが主因であると考えられ、本年度に重点的に取り組まれたことが評価されているといえる。低下要因については、中学校での取組についてうまく保護者に伝わっていないところがあると考えられ、これまでの周知方法の取組について点検し、日常的な情報共有に向けて努力されたい。このコミュニケーションのやりとりが、よりよい学校運営の基盤となることは言うまでも無く、単なる評価点数の高得点化以上の意義があると考えられる。引き続き、高等学校同様、北陽の政策ビジョン、目標に基づいて教育の推進、改革に努めていただきたい。総じて、高等学校・中学校における保護者、生徒対象の学校評価は、大学内部進学の見直しによる影響はあるものの、各項目とも概ね高水準で推移しており、これまでの取組が評価されているといえる。引き続き、保護者、生徒にも両校の政策ビジョン、目標をご理解いただきながら、教育の推進、改革に努めていただきたい。

(関西大学学長補佐/人間健康学部 教授 岡田 忠克)

#### 2019年度 関西大学北陽高等学校・中学校 学校関係者評価委員会委員一覧

No.	役職	氏名	任期	備考
1	委員長	田中敦夫	2019. 4. 1～2020. 3. 31	学校長
2	副委員長	吉村 聡	2019. 4. 1～2020. 3. 31	教頭（高等学校）
3		川崎安章	2019. 4. 1～2020. 3. 31	教頭（中学校）
4		岡田忠克	2019. 4. 1～2020. 3. 31	関西大学学長補佐 人間健康学部 教授
5		正井省吾	2019. 4. 1～2020. 3. 31	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 会長
6		貫戸隆広	2019. 4. 1～2020. 3. 31	関西大学北陽高等学校・中学校 PTA 副会長

## 6 校長の意見書

関西大学北陽高等学校・北陽中学校

校長 田中 敦夫

重点目標①基礎的・基本的な「確かな学力」を修得し、進路実現を果たす、②「多様な学び」を身に付けた生徒の育成、③「コミュニケーションの能力を有し、自ら考え判断する力」を養う教育、④大学とともに取り組む「次世代の人材育成」については、既に述べている。ここでは、前年度の外部評価委員からの指摘と2019年度の学校評価について記載することとする。

(1) 「何を目標とするか」を問う必要がある教育において、評価指標の設定の妥当性を議論する必要がある。

評価指標については、大幅達成(◎)ができた場合は、次年度から目標値を上げていきたい。一方で、未達成(△)や、大幅未達成(×)の取組においては、高い目標ではなく、少なくとも達成したい目標のため、方策を講じながら、改善し、目標を達成していきたい。その中で、2018年度、未達成が多かった英検に関し、取得率が上昇したことは、大きな成果である。

(2) 高校生徒の「スローラーナーへの対応」や「進路指導」に対する評価が憂慮される。

高校生全体の評価は、昨年に比べて少し下がっているが、高校2年生、高校3年生の評価は、昨年より上昇しており、進路実現のための取組が、生徒に望まれている内容であることが感じられる。

(3) 関西大学への内部進学率の伸び悩みの原因の一端が「北陽中学校出身」の合格率にあるならば、生徒に真摯に向き合い「個」に対応した指導をすることが急務と考える。

P2「基礎学力と多様な学びを身に付けた生徒を一人でも多く関西大学ならびに国公立大学へ送り出す。」を参照願いたい。

(4) 「組織」としての自己評価結果の中で、「国際理解」と「教員研修」の脆弱性に課題がある。

2020年度、新たに分掌として国際教育部を設置し、6名の教員を配置、常勤、非常勤の外国人講師を採用するとともに、英語科と連携して、国際理解教育を推進していく。また、教員研修については、全体研修として、毎年1回、教務、進路、生徒指導に関する研修を、テーマを決め実施している。ただ、個人研修については、業務との兼ね合いが難しく、積極的に研修に参加する教員は限られており、個人研修費を有効に利用できていないのが現状である。

(5) 英語能力の向上指標に位置付けられている英検の合格率から、目標の達成に至っていない指標が多くあり、生徒の能力に2極化の兆しが推測される。

P4「英語教育による基礎・基本を徹底し、実践的コミュニケーション能力を育成する。」を参照願いたい。



(6) 会議の有効性に関する教員の肯定率が低下しており、円滑かつ効率的な会議運営を行うための方策を検討、実施することでこの課題の解決を図ってほしい。

P 7 (1) 学校運営について<組織面>を参照願いたい。

## 7 アンケート結果

図表

- 【グラフ①】保護者（高校）対象「学校評価重要8項目」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ②】高校生対象「学校評価重要8項目」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ③】保護者（中学校）対象「学校評価重要8項目」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ④】中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑤】「学校生活の満足度」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑥】「教育方針・教育目標」と「併設校としての使命」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑦】「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑧】「保護者との連携」（学習と生徒指導に関して）の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑨】「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑩】「進路指導体制」の推移（2015年～2019年）
- 【グラフ⑪】「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2015年～2019年）

数表

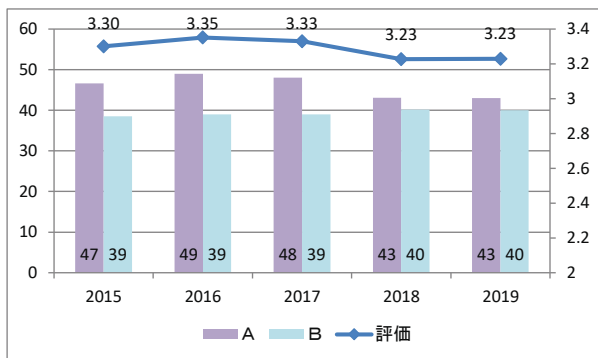
- 資料1—1 2019年度 学校評価 教員対象アンケート —組織—
- 資料1—2 2019年度 学校評価 教員対象アンケート —個人—
- 資料1—3 2019年度 学校評価 教員対象アンケート —「組織」の過去4ヵ年比較—
- 資料1—4 2019年度 学校評価 教員対象アンケート —「個人」の過去4ヵ年比較—
- 資料2 ① 2019年度 学校評価 保護者対象アンケート —高中別—
- 資料2—1 2019年度 学校評価 保護者対象アンケート（高校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2—2 2019年度 学校評価 保護者対象アンケート（中学校） —過去4ヵ年比較—
- 資料2 ② 2019年度 学校評価 生徒対象アンケート —高中別—
- 資料2—3 2019年度 学校評価 生徒対象アンケート（高校） —過去3ヵ年の推移—
- 資料2—4 2019年度 学校評価 生徒対象アンケート（中学校） —過去3ヵ年の推移—
- 資料3—1 2019年度 授業評価分析資料（教科別）
- 資料3—2 2019年度 授業評価分析資料（高校・中学校別）

以上

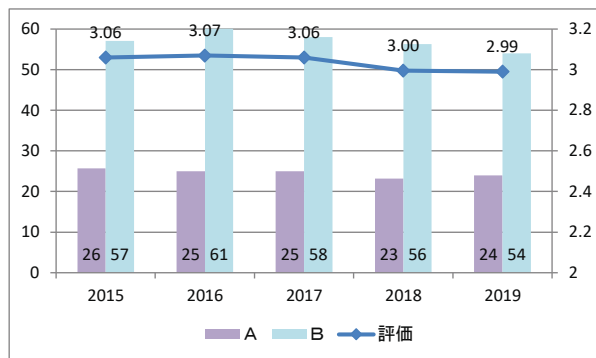
保護者(高校)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2015年～2019年)

【グラフ①】

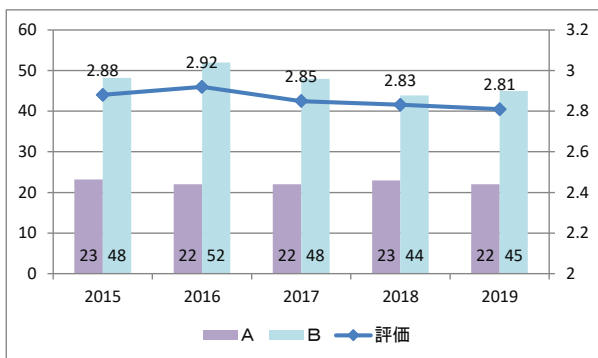
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



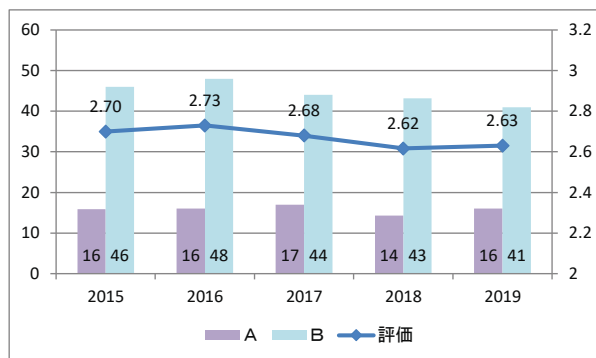
2 本校の教育方針を理解されていますか



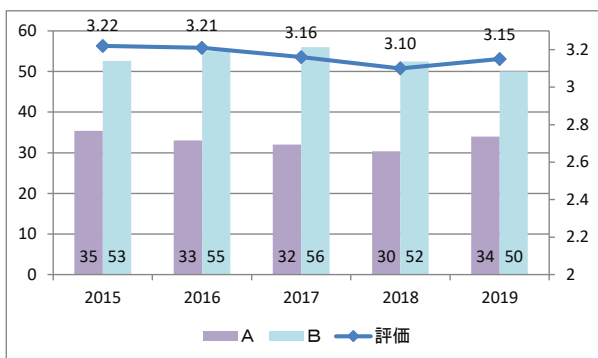
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



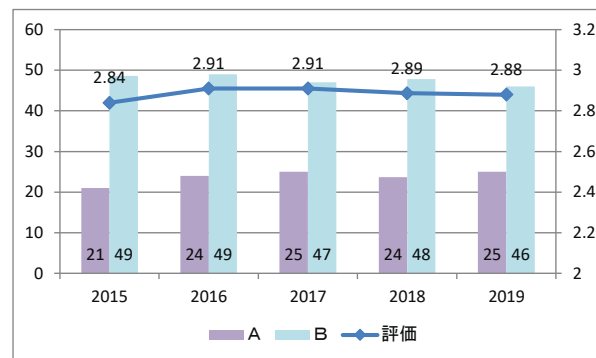
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



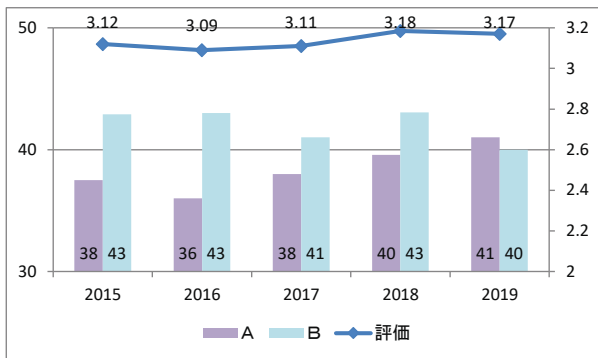
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



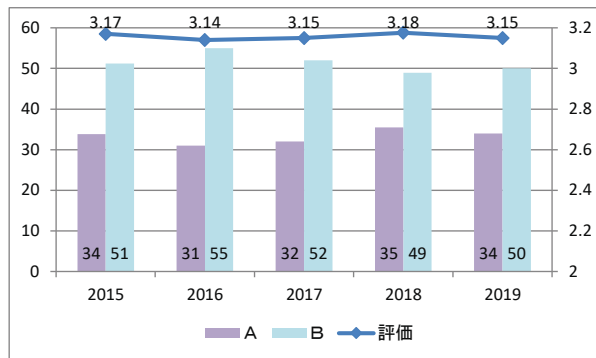
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



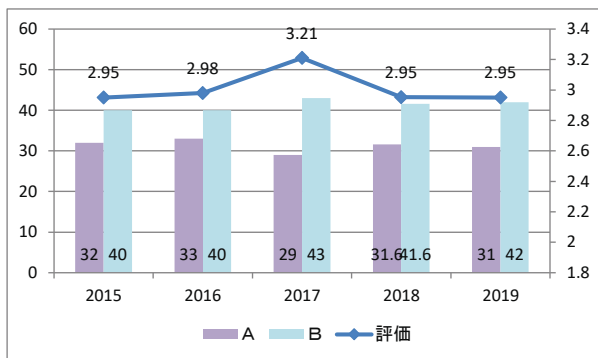
8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



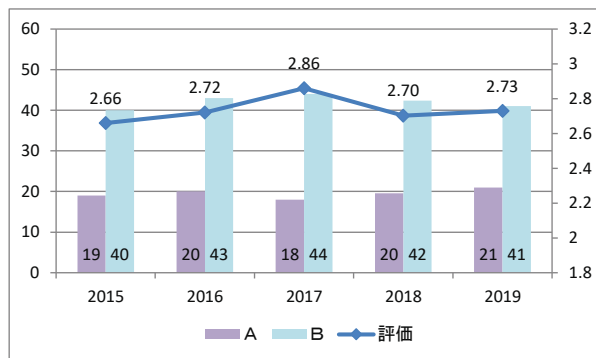
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

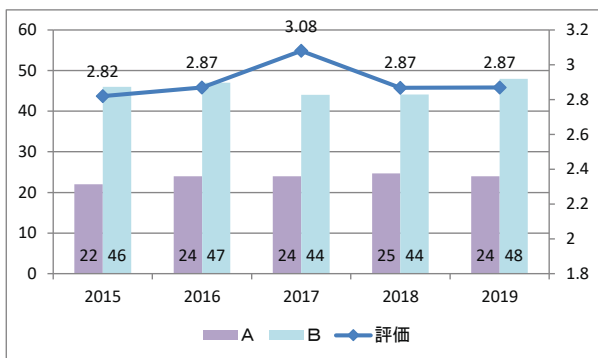
1 この学校に入学して良かったですか



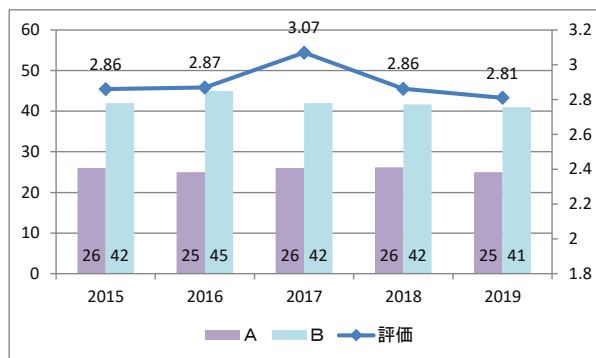
2 学校の教育方針を理解していますか



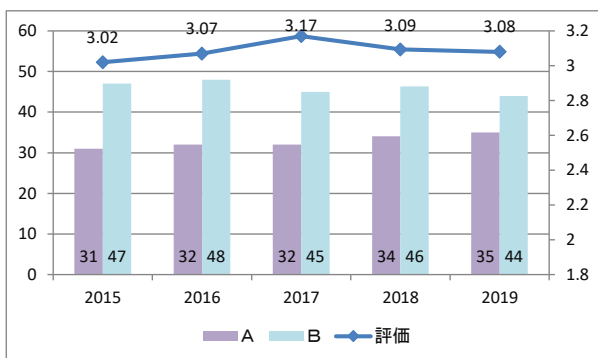
3 自分の学力は向上していると思いますか



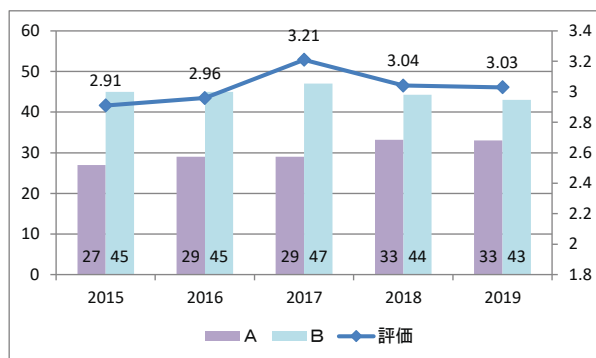
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



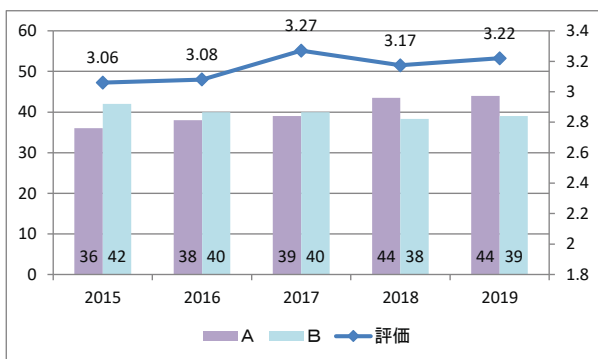
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



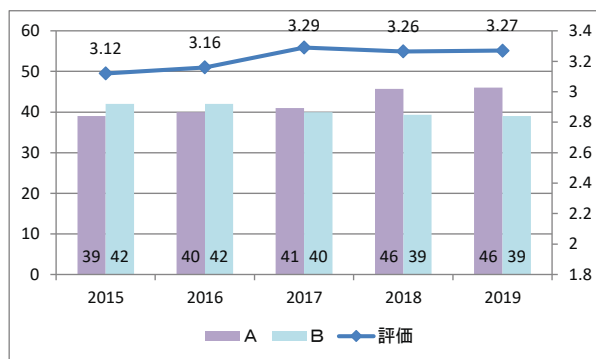
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

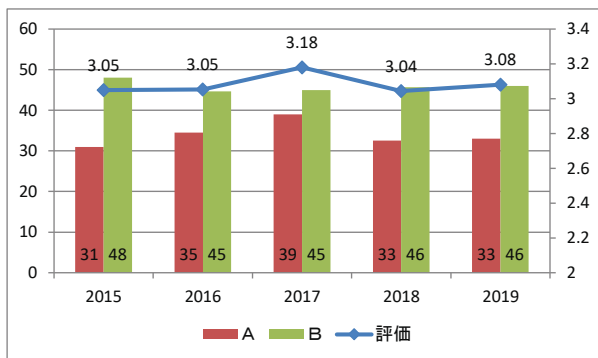
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

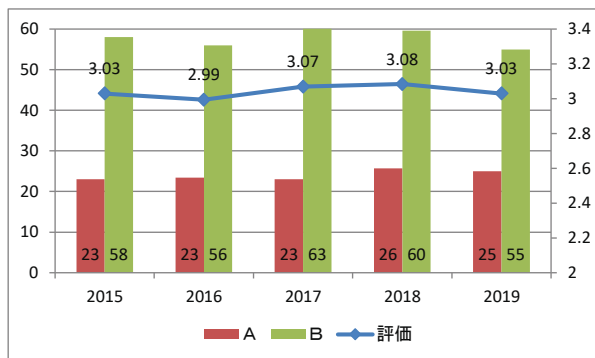
保護者(中学)対象「学校評価重要8項目」の推移 (2015年～2019年)

【グラフ③】

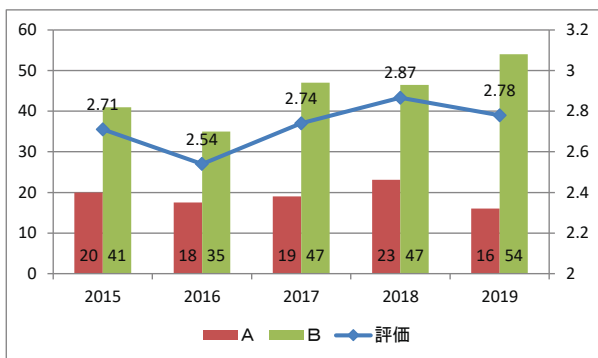
1 ご子女を本校に入学させて良かったと思えますか



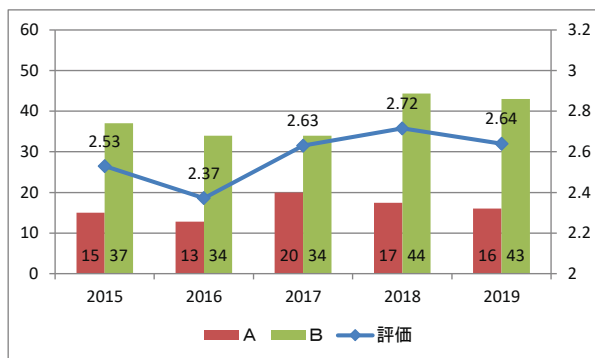
2 本校の教育方針を理解されていますか



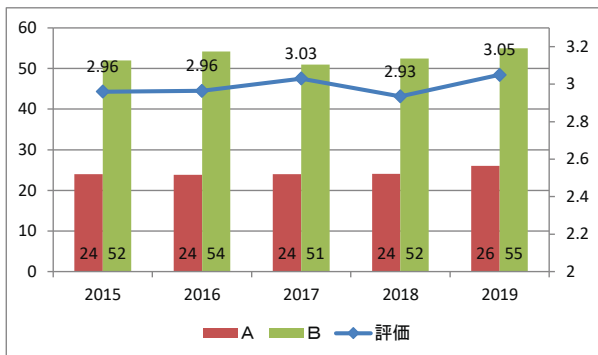
3 学力向上のために組織的な取組を行っていると思えますか



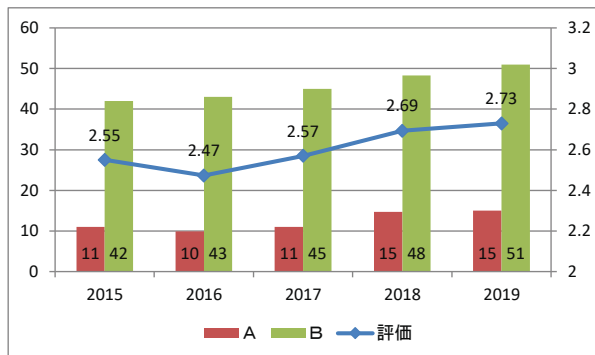
4 補習授業の取組が十分に行われていると思えますか



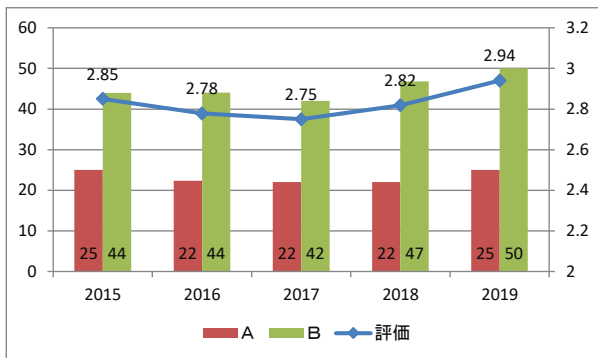
5 マナーやモラルを向上させる取組がされていると思えますか



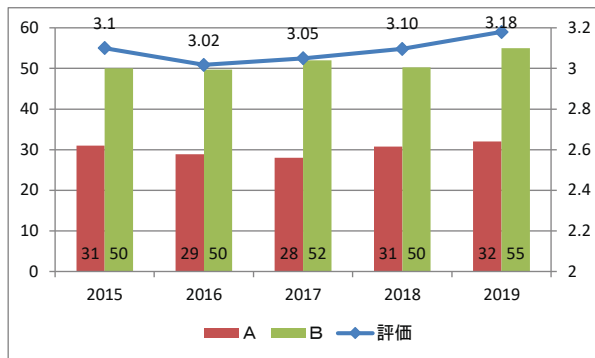
6 きめ細かな進路指導が行われていると思えますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思えますか



8 学校行事に対し学校と保護者が協力できていると思えますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

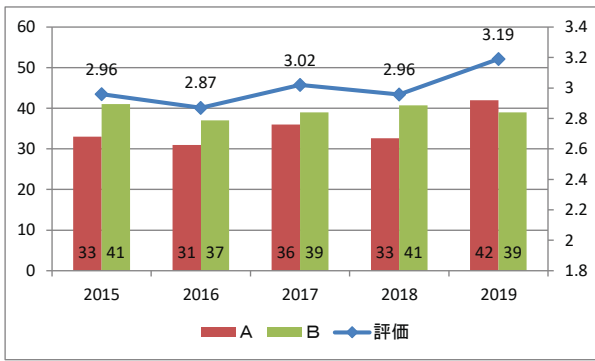
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

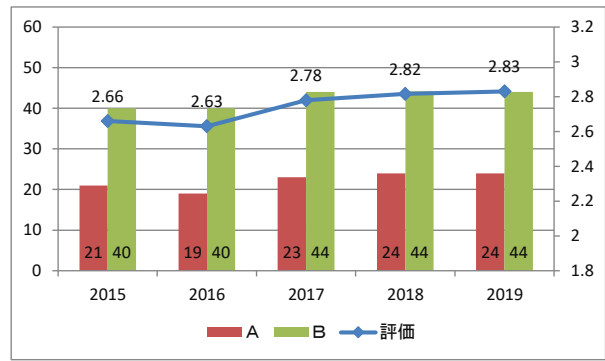
中学生対象「学校評価重要8項目」の推移（2015年～2019年）

【グラフ④】

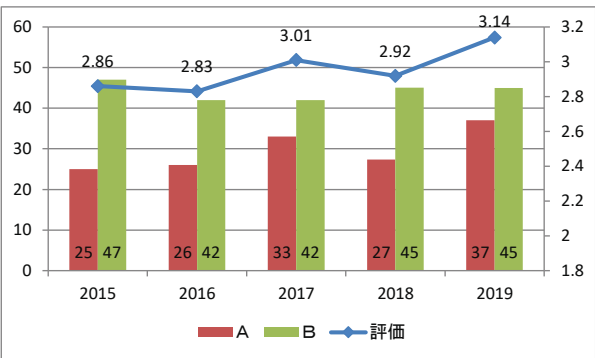
1 この学校に入学して良かったですか



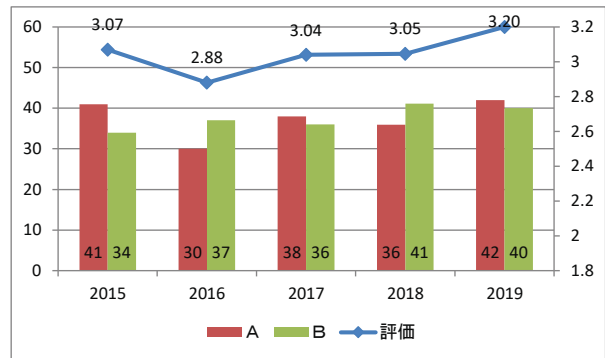
2 学校の教育方針を理解していますか



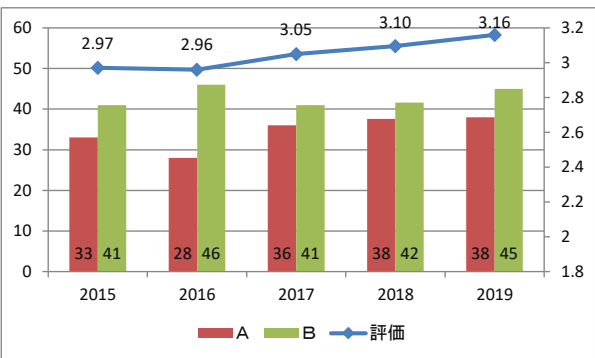
3 自分の学力は向上していると思いますか



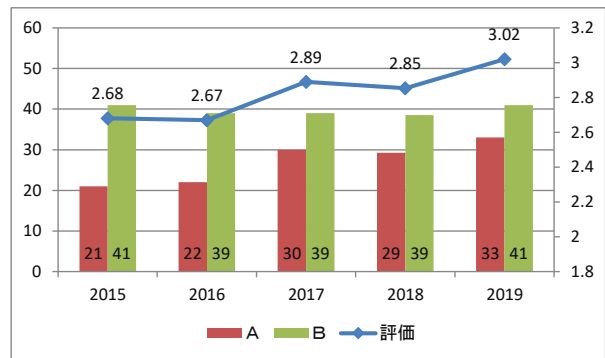
4 補習授業等、適切なフォローがありますか



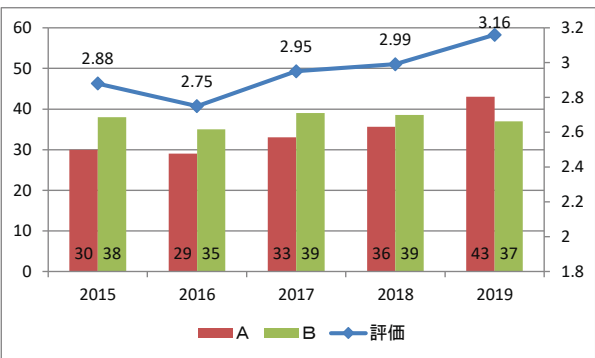
5 ルールやマナーについて指導を受けていますか



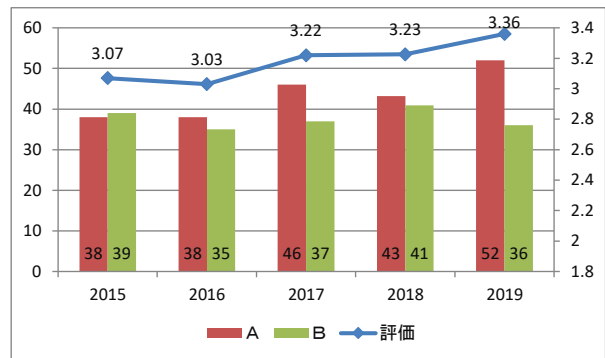
6 きめ細かな進路指導が行われていると感じますか



7 クラブ活動を学校全体で支援していると思いますか



8 学校行事に対して学校は支援していると思いますか



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

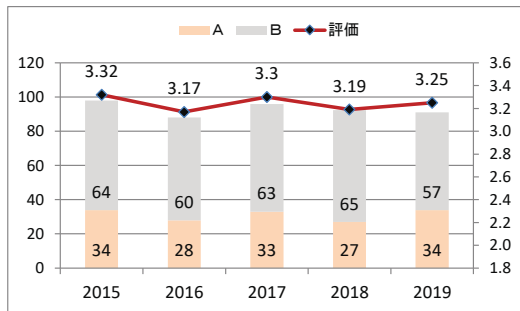
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

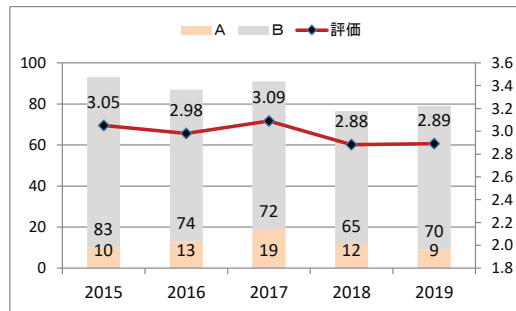
「学校生活の満足度」の推移（2015年～2019年）

【グラフ⑤】

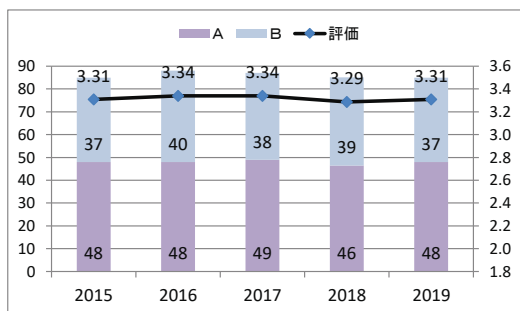
1 本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる(教員組織)



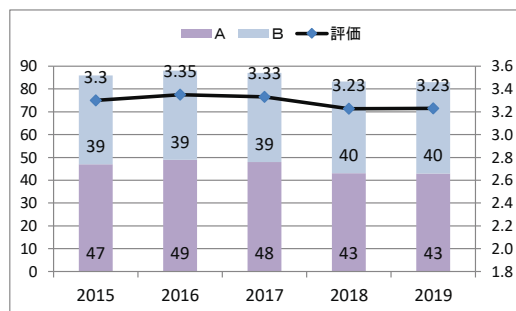
2 本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い(教員組織)



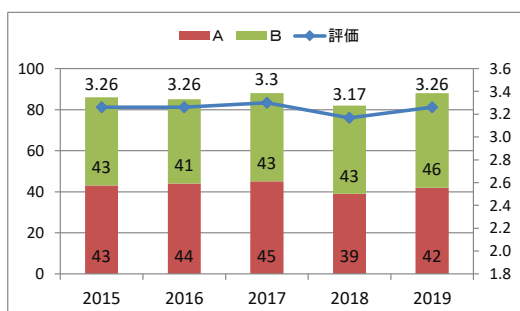
3 生き生きとした学校生活を送っているか(高校保護者対象)



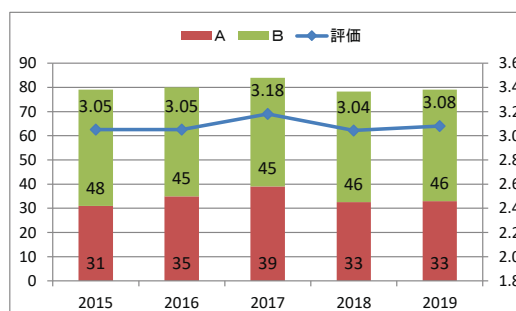
4 本校に入学させて良かったと思われるか(高校保護者対象)



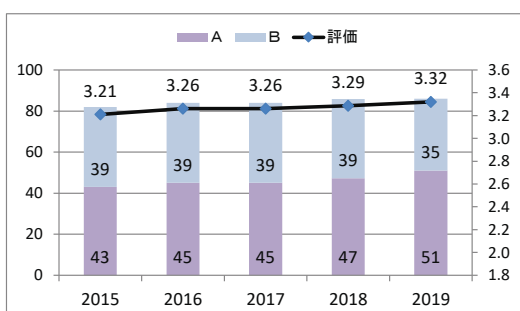
5 生き生きとした学校生活を送っているか(中学校保護者対象)



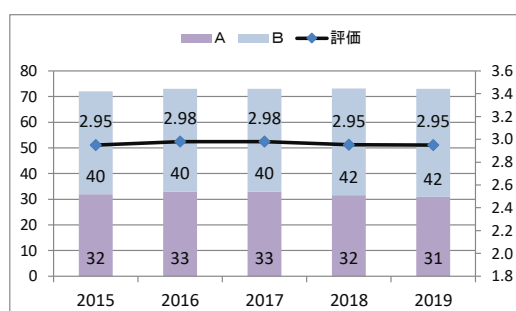
6 本校に入学させてよかったと思われるか(中学校保護者対象)



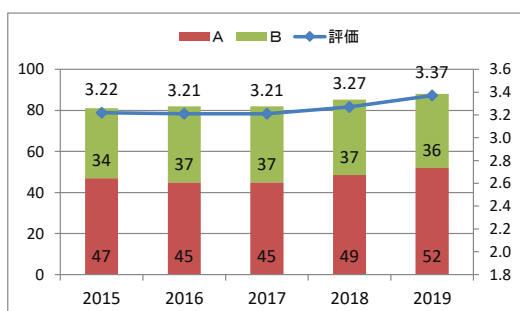
7 学校生活は楽しいと感じているか(高校生対象)



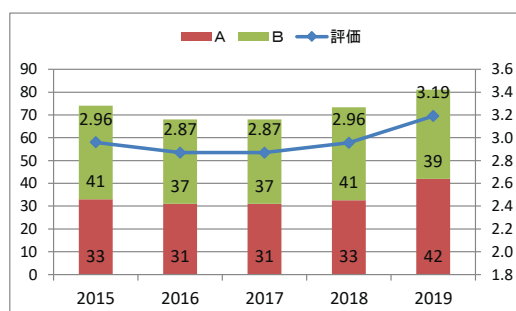
8 本校に入学してよかったと感じているか(高校生対象)



9 学校生活は楽しいと感じているか(中学生対象)



10 本校に入学してよかったと感じているか(中学生対象)



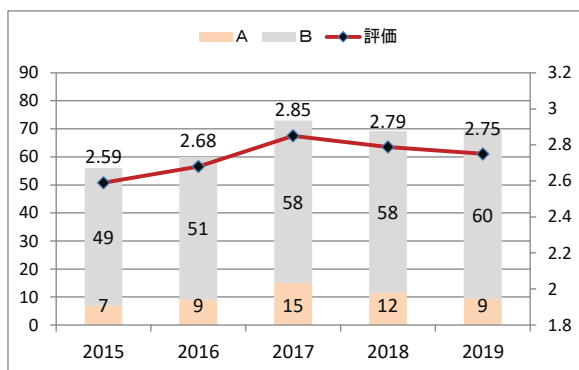
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

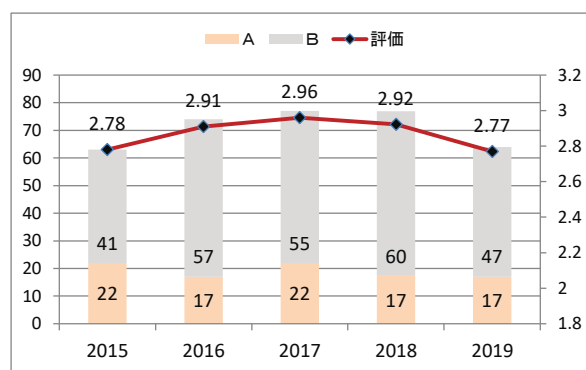
「教育方針・教育目標」「併設校としての使命」の推移 (2015年～2019年)

【グラフ⑥】

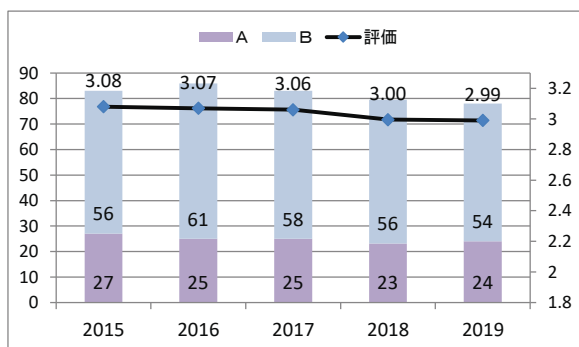
1. 教育方針・教育目標は関係者に浸透していると思うか。(教員組織)



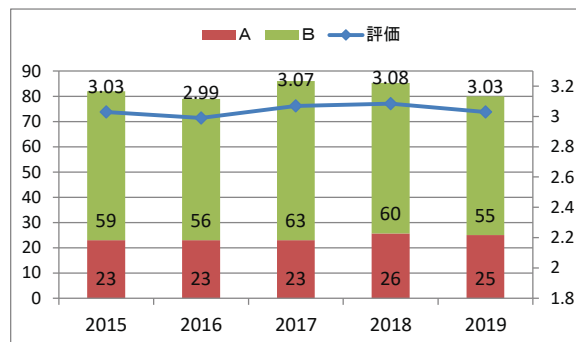
2. 関大と合併した意義と併設校としての使命が浸透しているか。(教員組織)



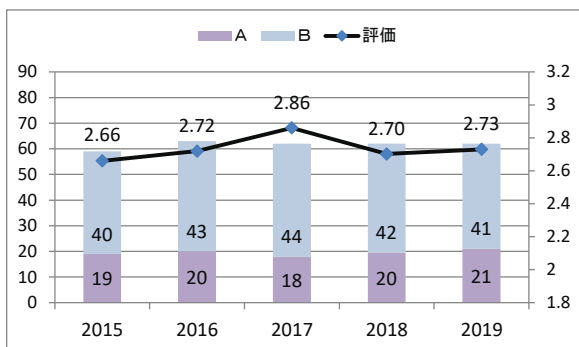
3. 本校の教育方針を理解していますか。(高校保護者対象)



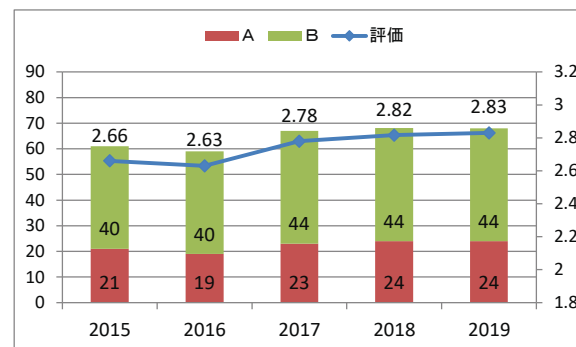
4. 本校の教育方針を理解していますか。(中学校保護者対象)



5. 本校の教育方針を理解していますか。(高校生対象)



6. 本校の教育方針を理解していますか。(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。

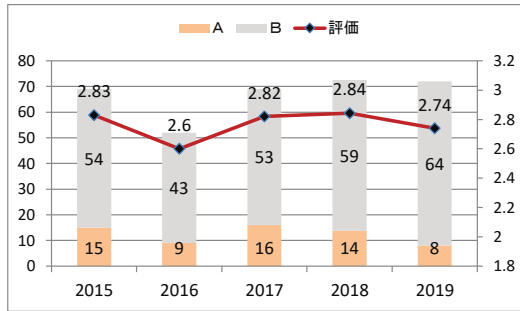
評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

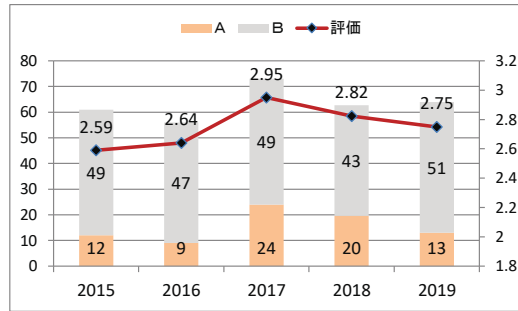
「学力向上の組織的な取組」と「スローラーナーへの対応」の推移（2015年～2019年）

【グラフ⑦】

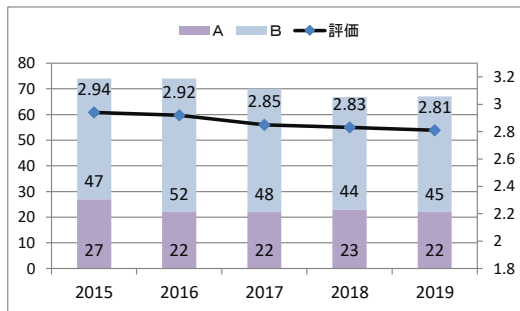
1 学力向上における組織的な取組(教員組織)



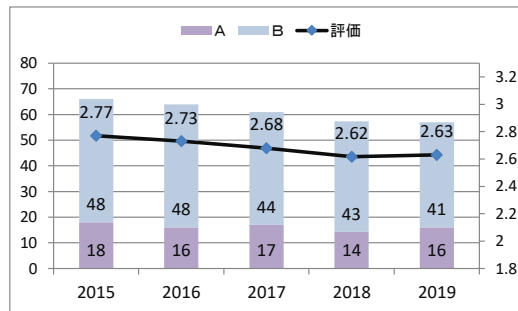
2 スローラーナーへの対応(教員組織)



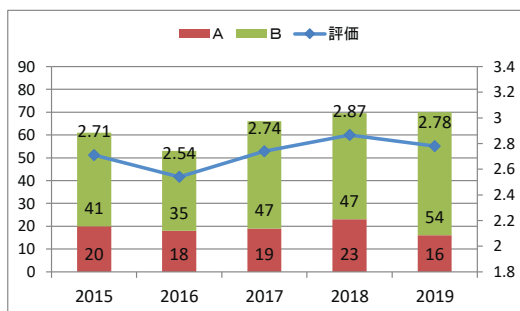
3 学力向上における組織的な取組(高校保護者対象)



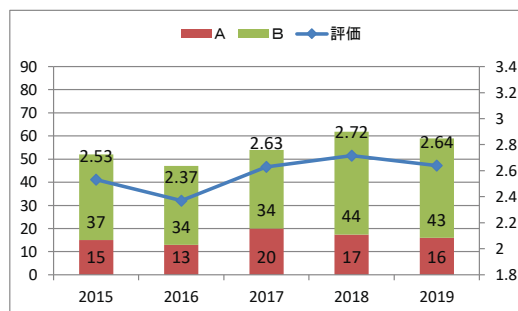
4 スローラーナーへの対応(高校保護者対象)



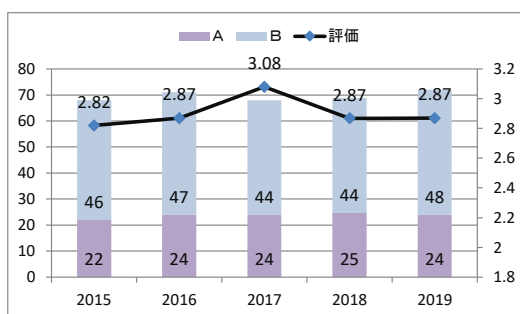
5 学力向上における組織的な取組(中学校保護者対象)



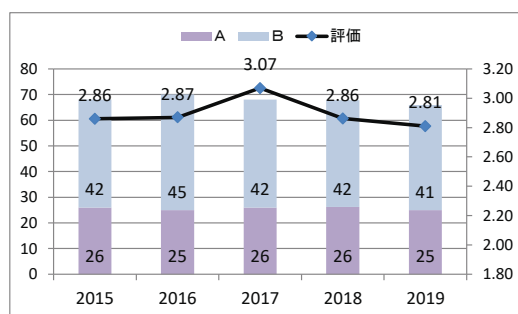
6 スローラーナーへの対応(中学校保護者対象)



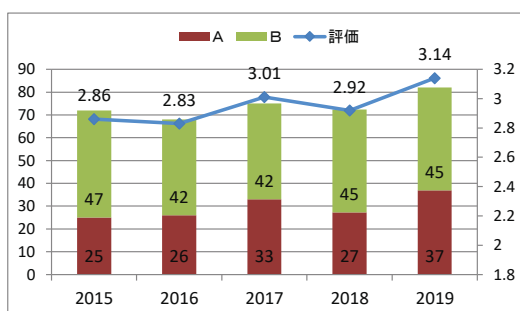
7 自分の学力は向上していると感じているか(高校生対象)



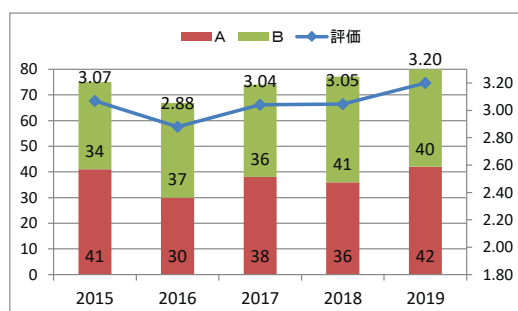
8 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(高校生対象)



9 自分の学力は向上していると感じているか(中学生対象)



10 適切なフォローをしてもらっていると感じているか(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

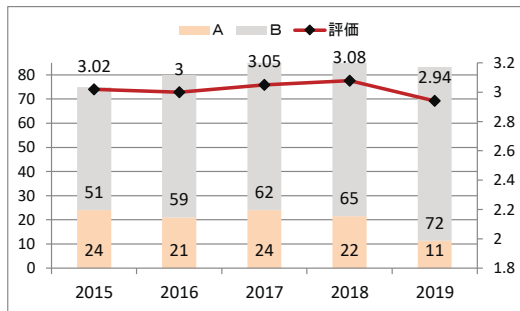
$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$



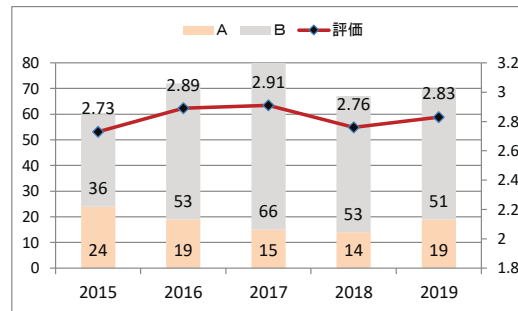
「保護者との連携」(学習と生徒指導に関して)の推移 (2015年～2019年)

【グラフ⑧】

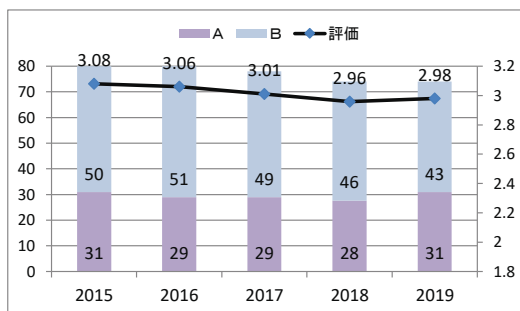
1 学習に関する保護者との連携(教員組織)



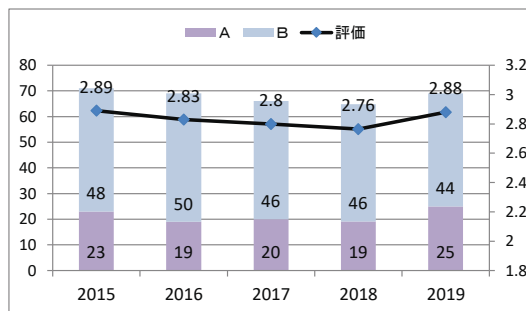
2 生徒指導における保護者との連携(教員組織)



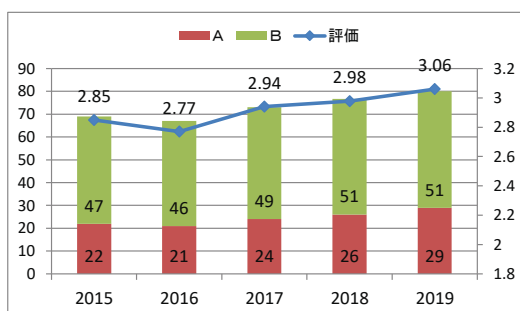
3 学習に関する保護者との連携(高校保護者対象)



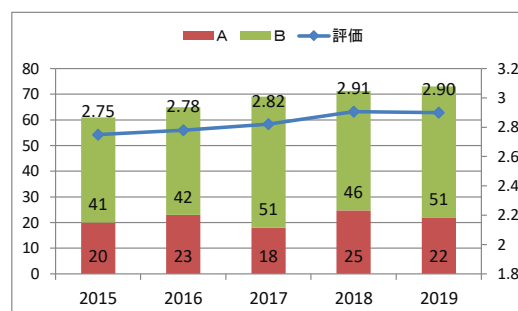
4 生徒指導における保護者との連携(高校保護者対象)



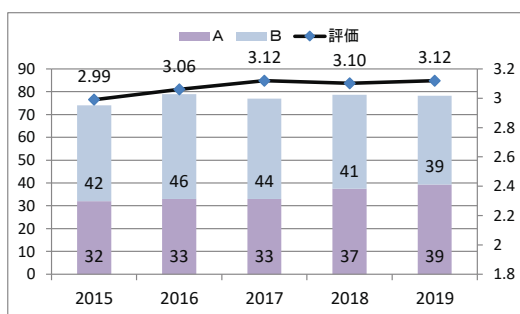
5 学習に関する保護者との連携(中学生保護者対象)



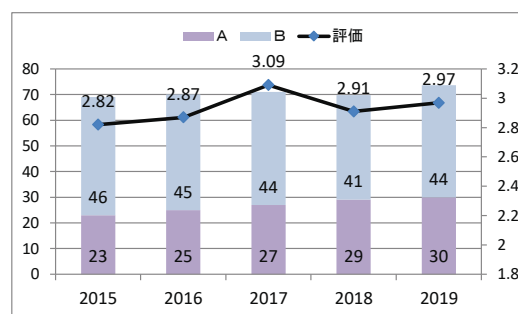
6 生徒指導における保護者との連携(中学校保護者対象)



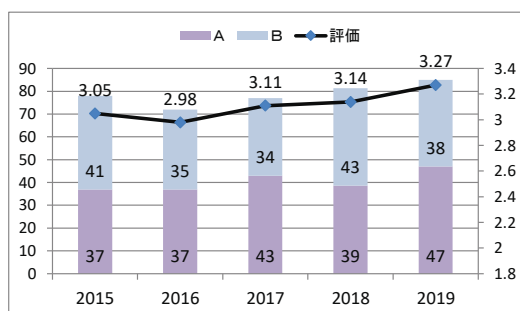
7 学習に関する保護者との連携(高校生対象)



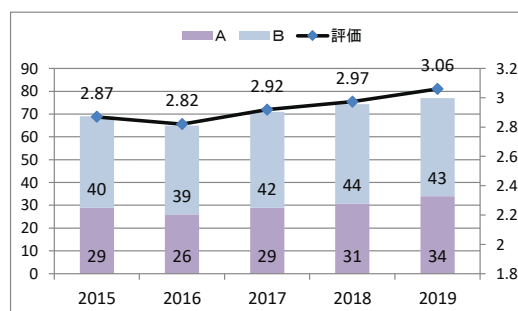
8 生徒指導における保護者との連携(高校生対象)



9 学習に関する保護者との連携(中学生対象)



10 生徒指導における保護者との連携(中学生対象)



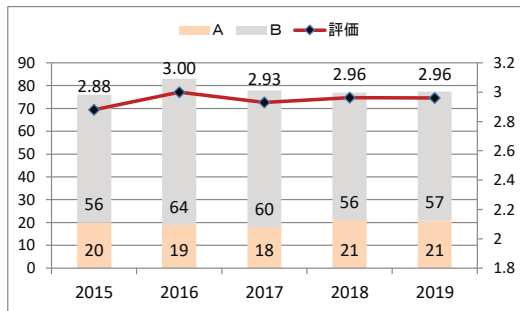
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

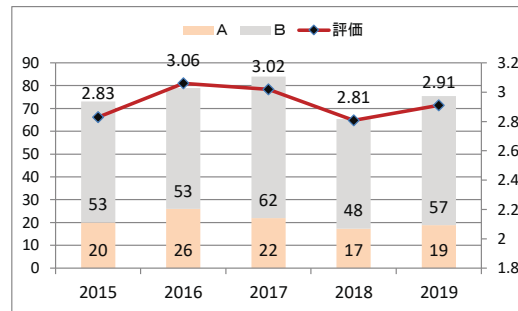
「社会規範の理解」と「生徒指導方針の一貫性」の推移（2015年～2019年）

【グラフ⑨】

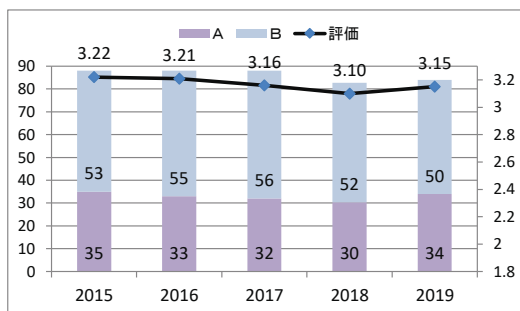
1 社会規範の理解とモラルの醸成(教員組織)



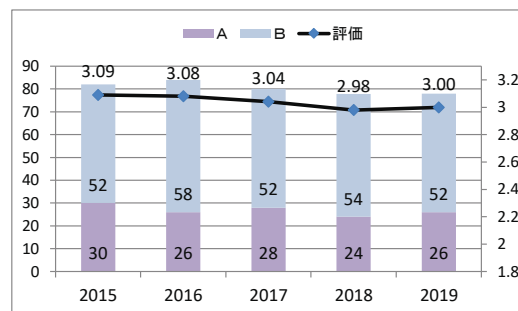
2 生徒指導方針の一貫性(教員組織)



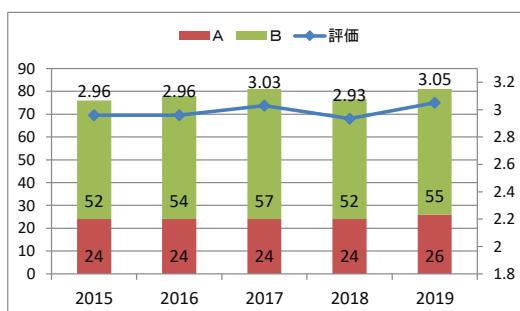
3 社会規範の理解とモラルの醸成(高校保護者対象)



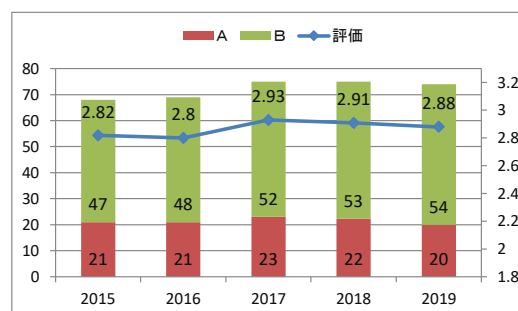
4 生徒指導方針の一貫性(高校保護者対象)



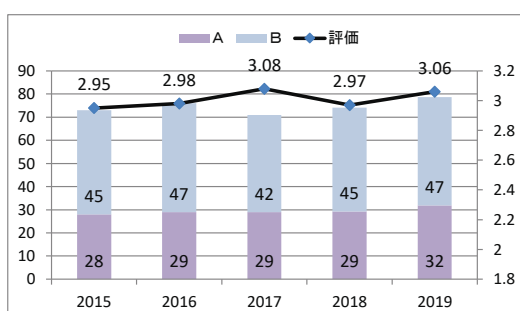
5 社会規範の理解とモラルの醸成(中学校保護者対象)



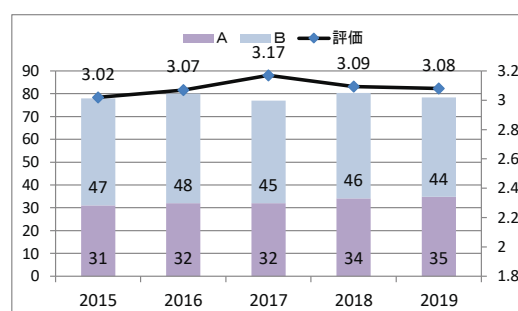
6 生徒指導方針の一貫性(中学校保護者対象)



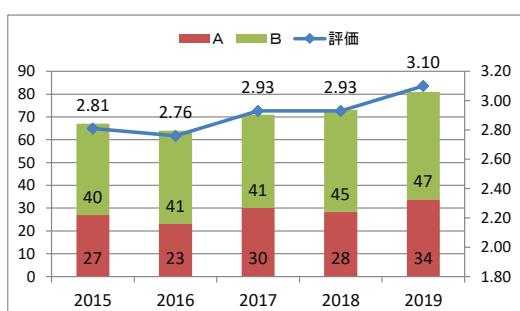
7 社会規範の理解とモラルの醸成(高校生対象)



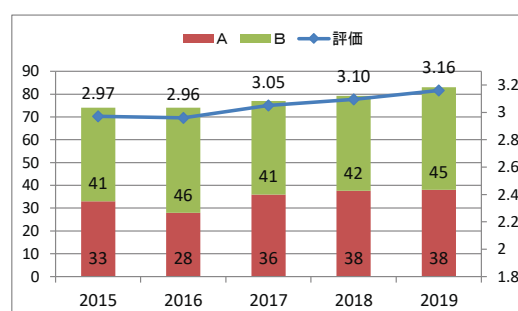
8 生徒指導方針の一貫性(高校生対象)



9 社会規範の理解とモラルの醸成(中学生対象)



10 生徒指導方針の一貫性(中学生対象)



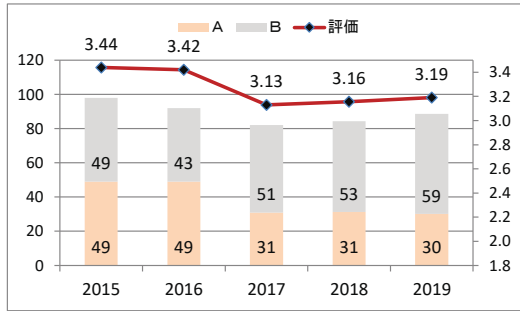
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

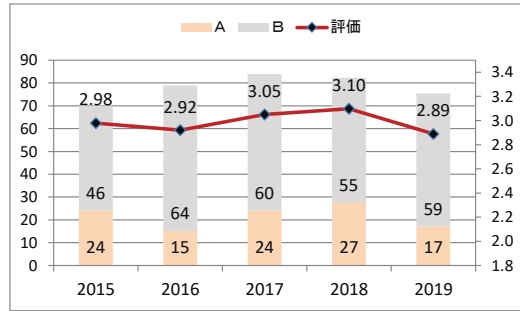
「進路指導体制」の推移（2015年～2019年）

【グラフ⑩】

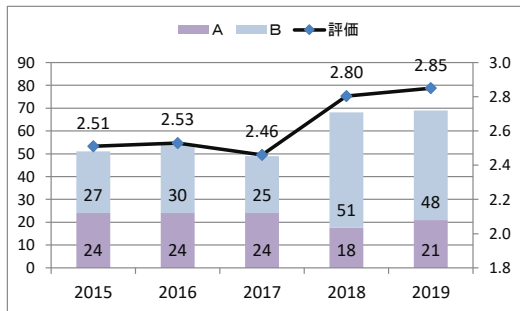
1 生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている（教員組織）



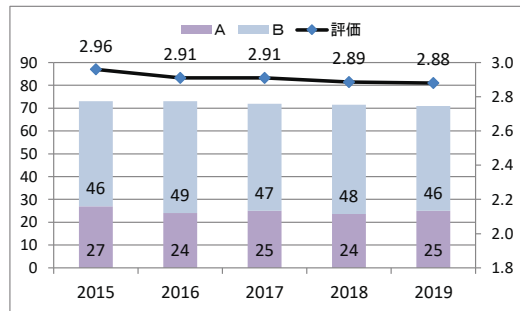
2 進路を実現させる指導を組織的に行える体制である（教員組織）



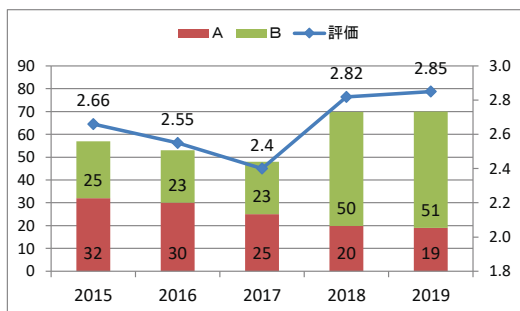
3 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校保護者対象）



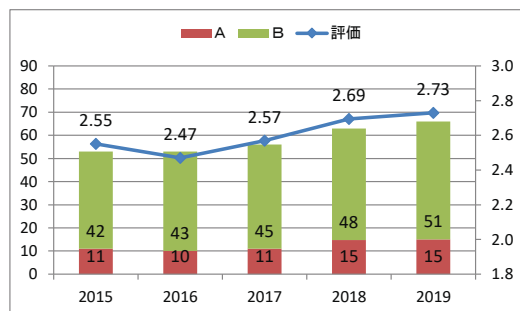
4 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校保護者対象）



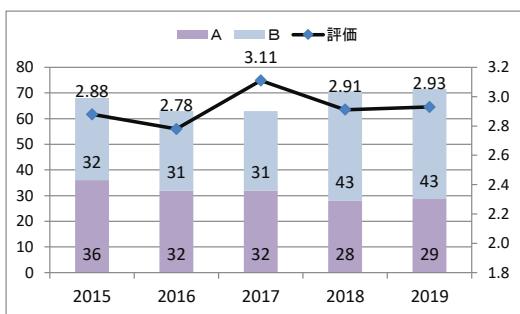
5 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学校保護者対象）



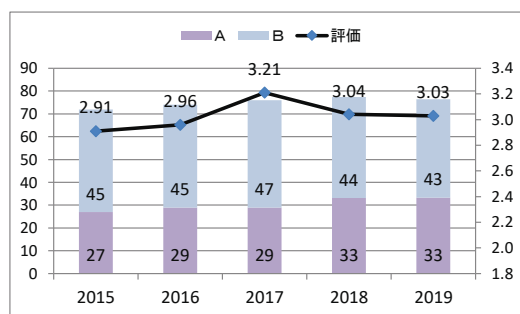
6 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学校保護者対象）



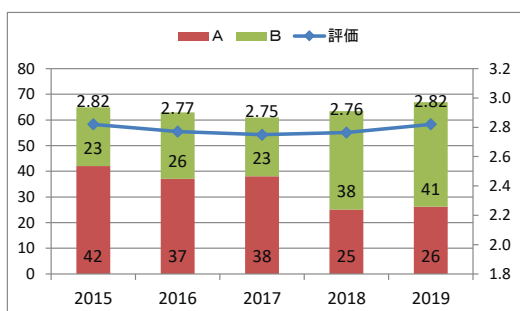
7 カウンセリングを受けられることを知っていますか（高校生対象）



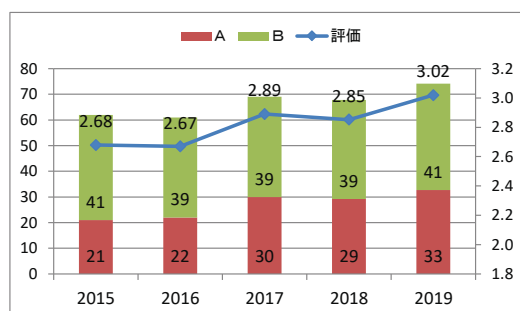
8 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（高校生対象）



9 カウンセリングを受けられることを知っていますか（中学生対象）



10 進路実現の為きめ細かな指導を行っていますか（中学生対象）



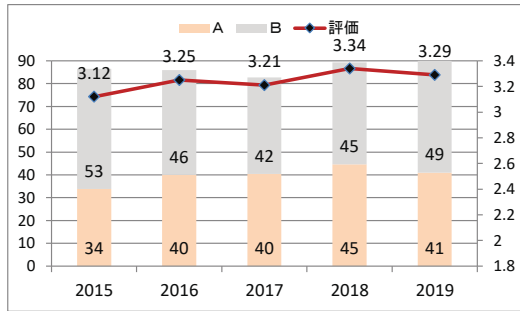
※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

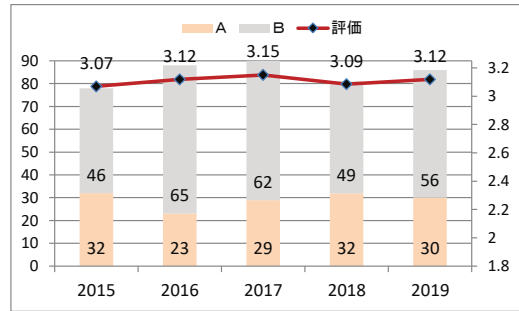
# 「部活動支援」と「学校行事指導体制」の推移（2015年～2019年）

【グラフ⑩】

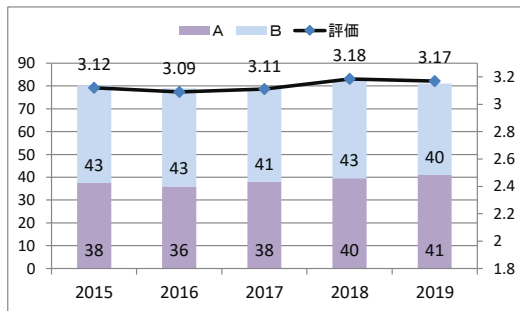
1 部活動を通して生徒が成長できる学校全体で支援しているか(教員組織)



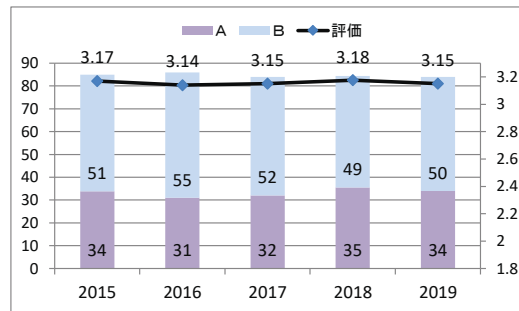
2 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援しているか(教員組織)



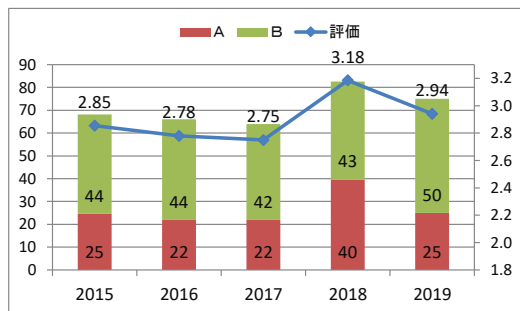
3 部活動を通して生徒が成長できる学校全体で支援している(高校保護者対象)



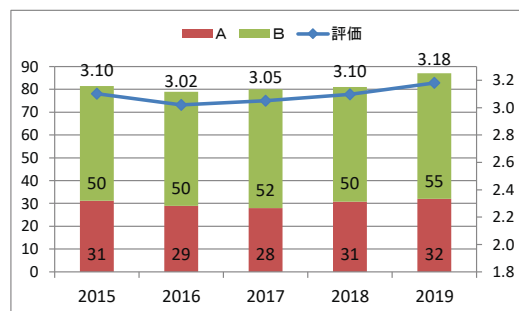
4 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(高校保護者対象)



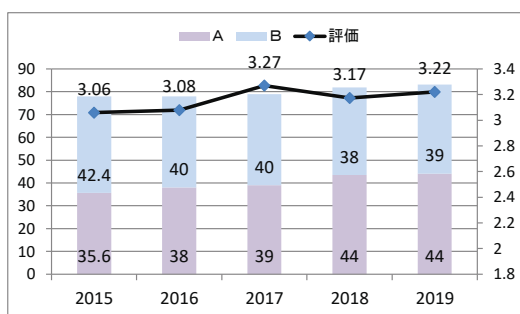
5 部活動を通して生徒が成長できる学校全体で支援しているか(中学校保護者対象)



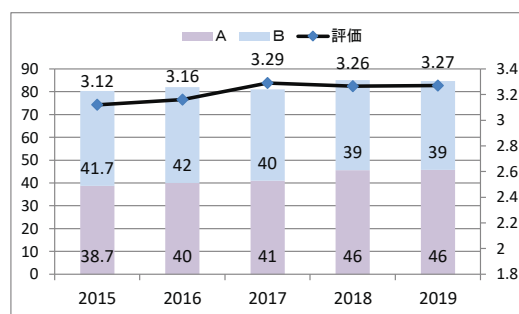
6 学校行事に対して学校と保護者が協力して支援していると思うか(中学校保護者対象)



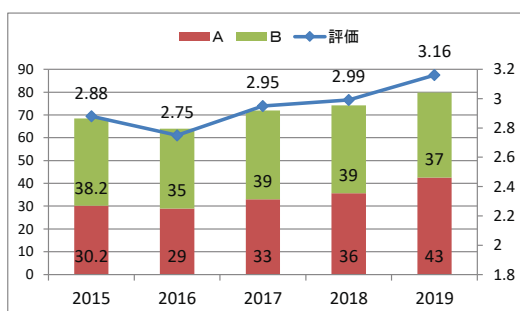
7 部活動を通して生徒が成長できる学校全体で支援していると思うか(高校生対象)



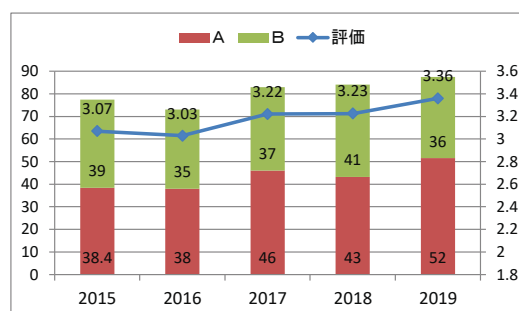
8 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(高校生対象)



9 部活動を通して生徒が成長できる学校全体で支援していると思うか(中学生対象)



10 学校行事に生徒が積極的に活動できるよう配慮していると思うか(中学生対象)



※縦軸について、右側は評価平均値、左側はA・Bの割合(%)を示す。  
 評価平均値は、アンケート回答のA(そう思う)を4、B(どちらかといえばそう思う)を3、C(どちらかといえばそう思わない)を2、D(そう思わない)を1として、以下の式により算出したもの。  

$$[4 \times (\text{Aの回答数}) + 3 \times (\text{Bの回答数}) + 2 \times (\text{Cの回答数}) + 1 \times (\text{Dの回答数})] \div (\text{回答総数}) = \text{評価平均値}$$

分類	大項目	No.	小項目	設 問 30項目	評価	A	B	C	D	
学校 全般		○ 1		本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	3.25	34.0	56.6	9.4	0.0	
		○ 2		本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	2.89	9.4	69.8	20.8	0.0	
学校 運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	2.75	9.4	60.4	26.4	3.8	
			4	合併の精神・併設校としての使命	関西大学と合併した意義や併設校としての使命が教職員に浸透している。	2.77	17.0	47.2	32.1	3.8
	教職員間連携		5	管理職と教員、教職員同士の連携	管理職と教員あるいは教職員同士の間で信頼関係を築く努力がなされている。	2.77	18.9	45.3	30.2	5.7
			6	ミドルマネジメントによる組織運営	主任(学年・分掌・教科)がミドルアップとミドルダウンに努め、組織運営が活性化している。	2.83	18.9	52.8	20.8	7.5
		○ 7		会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	2.85	23.1	48.1	19.2	9.6
			8	ハラスメントに関する研修	安心・安全な職場環境を形成するために、ハラスメントに対する注意喚起および定期的な研修が行われている。	2.75	20.8	43.4	26.4	9.4
	情報公開		9	ホームページの活用	本校のホームページは、生徒や保護者にとって知りたい情報を有効に公開している。	2.75	15.1	49.1	32.1	3.8
	危機管理		10	初動対応	事故、事件、災害に対する初動対応が的確に行われる組織になっている。	2.62	15.1	41.5	34.0	9.4
		○ 11		避難訓練や安全対策	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	3.17	35.8	47.2	15.1	1.9
	地域との連携		12	地域連携の推進	自治会や近隣地域に対して、本校の教育活動に理解を得るための取組が行われている。	2.58	9.4	47.2	35.8	7.5
教育 内容	知 育	○ 13	学力向上における組織的な取組	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	2.74	7.5	64.2	22.6	5.7	
		○ 14	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	2.75	13.2	50.9	34.0	1.9	
		○ 15	保護者との連携	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.94	11.3	71.7	17.0	0.0	
	徳 育	○ 16	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、マナーやモラルを向上させる取組を行っている。	2.96	20.8	56.6	20.8	1.9	
		○ 17	いじめへの対応	いじめの実態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないよう早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	3.06	22.6	62.3	13.2	1.9	
		18	ボランティア活動の推進	生徒に地域とのつながりを意識させ、清掃活動などの地域貢献が行われている。	2.89	30.2	34.0	30.2	5.7	
	体 育	○ 19	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	
	人権教育		20	人権に対する指導体制	他者の人権を尊重する教育が計画的に行われている。	3.02	22.6	60.4	13.2	3.8
学校間連携	○ 21	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に進んでいる。	3.13	32.1	49.1	18.9	0.0		
生徒 支援	生徒指導		22	指導方針の一貫性	生徒指導が学校としての明確な方針のもとに行われている。	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8
			23	組織的な指導体制・家庭との連携	生徒指導を組織的に行う体制ができており、教員間の意識の統一や家庭との連携も行われている。	2.83	18.9	50.9	24.5	5.7
	カウンセリング	○ 24	カウンセリング体制	生徒・保護者へのカウンセリングの体制を整えている。	3.19	30.2	58.5	11.3	0.0	
	進路指導		25	進路指導体制	一人ひとりの進路を実現させる指導を、係を中心として組織的に進める体制ができています。	2.89	17.0	58.5	20.8	3.8
	生徒会活動		26	部活動支援状況	部活動を通じて生徒が成長できるよう学校全体で支援している。	3.29	41.2	49.0	7.8	2.0
		27	学校行事指導体制	学校行事を通じて生徒が主体的に活動できるよう、学校と保護者が協力して支援している。	3.12	30.0	56.0	10.0	4.0	
教員研修 資質向上	教員の研修活動	○ 28	校内外における教員研修	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。	2.67	13.7	43.1	39.2	3.9	
			29	教員相互の資質向上体制	教員間で授業を見学し合い、互いに切磋琢磨して授業力を向上させる取組をしている。	2.41	9.8	37.3	37.3	15.7
その他	国際化		30	国際理解	ALTによる授業、異文化交流あるいは語学研修等により、国際理解を深める体制がある。	2.20	8.2	24.5	51.0	16.3

注:○は併設校共通項目

A~Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準 A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない

2.88

2019年度 教員個人の自己評価 点検・評価項目 一人 関西大学北陽高等学校・中学校

【資料1-2】

分類	大項目	No.	設 問	25項目	評価	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	1	教育方針・教育目標	建学の精神、関大北陽の中期ビジョン、教育方針をしっかりと理解をしている。	2.88	15.7	60.8	19.6	3.9
		2	併設校としての使命感	関西大学の併設校としての使命を理解した上で、生徒の指導に携わっている。	3.24	31.4	60.8	7.8	0.0
	教育課程	3	学習指導要領と年間指導計画	教科ごとに作成をしたシラバスに沿って授業を行なっている。	3.39	49.0	41.2	9.8	0.0
	教職員間連携	4	教職員間の連携	教員同士あるいは教員と職員間の相互理解と信頼関係づくりに努めている。	3.06	24.0	58.0	18.0	0.0
		5	会議の有効性	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されるよう努めている。	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0
	危機管理	6	初動対応および報告・連絡・相談	事故、事件、災害に対して的確な初動対応やタイムリーな報告・連絡・相談を行なっている。	3.16	33.3	51.0	13.7	2.0
	分掌と学年	7	分掌における役割	分掌における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.37	41.2	54.9	3.9	0.0
		8	学年における役割	学年における自分の役割と任務を確実に遂行し、学校運営の改善を図っている。	3.14	23.5	68.6	5.9	2.0
教育内容	知 育	9	基礎学力の習得	基礎基本(基礎学力)を身につけさせるために、重要項目の反復練習を十分に行っている。	3.10	27.5	56.9	13.7	2.0
		10	学力向上における組織的な取組	学力向上のために学年、教科として共通して取り組むべきところは協調しながら取り組んでいる。	3.18	33.3	52.9	11.8	2.0
		11	模試や入試問題の活用	模擬試験や大学入試などの問題分析を行い、授業や講習等に反映させている。	3.06	27.5	54.9	13.7	3.9
		12	スローラーナーへの対応	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を精力的に行っている。	2.57	9.8	41.2	45.1	3.9
		13	授業評価の活用	生徒の教員に対する授業評価を分析し、反省すべき点を把握し、今後の改善を図ろうとしている。	2.88	17.6	52.9	29.4	0.0
		14	保護者との連携	生徒の成績の伸びや学習状況に関して、保護者との懇談や連絡を密に行っている。	2.98	25.5	49.0	23.5	2.0
	徳 育	15	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒に対してマナーやモラルの大切さを喚起させ、自らの道徳心を高める努力をしている。	3.16	27.5	62.7	7.8	2.0
	体 育	16	健康な身体づくり	常に生徒の健康管理に気を配り、心身ともに健康な体づくりを促している。	3.20	33.3	54.9	9.8	2.0
	人権教育	17	人権に対する指導体制	生徒の人権を尊重し、対等の互惠関係を築く努力をしている。	3.14	27.5	60.8	9.8	2.0
	学校間連携	18	中高大連携事業の実践	関西大学との教育連携に対しての理解を深め、積極的に協力をしている。	3.06	23.5	60.8	13.7	2.0
生徒指導と支援	生徒指導	19	指導方針の一貫性	学校としての生徒指導の方針に従い、個々の生徒に対してしっかりと指導管理ができています。	3.20	27.5	66.7	3.9	2.0
		20	家庭との連携状況	生徒指導において、家庭との連携を密にし、連絡を取り合っている。	3.04	19.6	66.7	11.8	2.0
	進路指導	21	進路指導体制	生徒一人ひとりの個性と能力に合った進路指導を、進路指導係と連携して行っている。	2.96	21.6	58.8	13.7	5.9
	生徒会指導	22	部活動支援状況	生徒が心身ともに成長できるよう、クラブ活動を通して計画的に指導支援をしている。	3.24	41.2	43.1	13.7	2.0
		23	学校行事指導体制	学校行事や生徒会活動において、生徒同士が協力して主体的に活動できるよう指導支援をしている。	3.24	39.2	45.1	15.7	0.0
教員の資質向上	教員研修	24	教員研修体制	学校内外の研修会に積極的に参加をし、教員としての資質を向上させるよう取り組んでいる。	2.67	17.6	39.2	35.3	7.8
		25	教員相互の援助体制	研究授業や授業見学を通して、教員同士で互いに切磋琢磨し、授業改善を図っている。	2.61	11.8	49.0	27.5	11.8

注：○は併設校共通項目

A～Dの数字は全体に占める割合(%)

「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準

A(4): と思う B(3): どちらかといえばと思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

3.07

学校評価(教員対象) —「組織面の自己評価」の年次比較(過去4力年)—

【資料1-3】

			教員 組織面の自己評価																				
分類	大項目	小項目	NO.	2016年度					2017年度					2018年度					2019年度				
				評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校全般		学園生活	○ 1	3.17	28.3	60.4	11.3	0.0	3.30	33.3	63.0	3.7	0.0	3.19	26.9	65.4	7.7	0.0	3.25	34.0	56.6	9.4	0.0
			○ 2	2.98	13.2	73.6	11.3	1.9	3.09	18.5	72.2	9.3	0.0	2.88	11.8	64.7	23.5	0.0	2.89	9.4	69.8	20.8	0.0
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	○ 3	2.68	9.4	50.9	37.7	1.9	2.85	14.5	58.2	25.5	1.8	2.79	11.5	57.7	28.8	1.9	2.75	9.4	60.4	26.4	3.8
		合併の精神・併設校としての使命	4	2.91	17.0	56.6	26.4	0.0	2.96	21.8	54.5	21.8	1.8	2.92	17.3	59.6	21.2	1.9	2.77	17.0	47.2	32.1	3.8
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画																					
		管理職と教員、教職員同士の間の連携	5	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.60	12.7	41.8	38.2	7.3	2.79	19.2	44.2	32.7	3.8	2.77	18.9	45.3	30.2	5.7
	教職員間連携	ミドルマネジメントの組織運営	6	2.85	18.9	52.8	22.6	5.7	2.91	14.5	61.8	23.6	0.0	2.98	23.1	53.8	21.2	1.9	2.83	18.9	52.8	20.8	7.5
		会議の有効性	○ 7	3.00	22.6	58.5	15.1	3.8	3.02	21.8	58.2	20.0	0.0	2.83	21.2	48.1	23.1	7.7	2.85	23.1	48.1	19.2	9.6
		ハラスメントに関する研修	8	2.70	17.0	41.5	35.8	5.7	2.51	7.3	43.6	41.8	7.3	2.71	9.8	54.9	31.4	3.9	2.75	20.8	43.4	26.4	9.4
	情報公開	ホームページの活用	○ 9	2.64	11.3	43.4	43.4	1.9	2.95	25.5	49.1	20.0	5.5	2.63	7.8	56.9	25.5	9.8	2.75	15.1	49.1	32.1	3.8
	危機管理	初動対応	10	2.87	18.9	52.8	24.5	3.8	3.04	25.5	58.2	10.9	5.5	2.61	15.7	41.2	31.4	11.8	2.62	15.1	41.5	34.0	9.4
		避難訓練や安全対策	○ 11	3.26	43.4	41.5	13.2	1.9	3.33	49.1	36.4	12.7	1.8	3.23	38.5	50.0	7.7	3.8	3.17	35.8	47.2	15.1	1.9
	地域との連携	地域連携の推進	12	2.66	17.0	39.6	35.8	7.5	2.64	18.2	32.7	43.6	5.5	2.53	11.8	39.2	39.2	9.8	2.58	9.4	47.2	35.8	7.5
	分掌と学年	分掌における役割																					
学年における役割																							
教育内容	知 育	基礎学力の習得																					
		学力向上における組織的な取組	○ 13	2.60	9.4	43.4	45.3	1.9	2.82	16.4	52.7	27.3	3.6	2.84	13.7	58.8	25.5	2.0	2.74	7.5	64.2	22.6	5.7
		模試や入試問題の活用																					
		スローラーナーへの対応	○ 14	2.64	9.4	47.2	41.5	1.9	2.95	23.6	49.1	25.5	1.8	2.82	19.6	43.1	37.3	0.0	2.75	13.2	50.9	34.0	1.9
		授業評価の活用																					
	徳 育	保護者との連携	○ 15	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.05	23.6	61.8	10.9	3.6	3.08	21.6	64.7	13.7	0.0	2.94	11.3	71.7	17.0	0.0
		社会規範の理解とモラルの醸成	○ 16	3.00	18.9	64.2	15.1	1.9	2.93	18.2	60.0	18.2	3.6	2.96	21.2	55.8	21.2	1.9	2.96	20.8	56.6	20.8	1.9
		いじめへの対応	17	2.89	13.2	64.2	20.8	1.9	3.13	27.3	61.8	7.3	3.6	3.02	19.2	65.4	13.5	1.9	3.06	22.6	62.3	13.2	1.9
	体 育	ボランティア活動の推進	18	3.04	32.1	45.3	17.0	5.7	2.98	27.3	50.9	14.5	7.3	3.18	37.3	47.1	11.8	3.9	2.89	30.2	34.0	30.2	5.7
		健康な身体づくり	○ 19	3.09	32.1	45.3	22.6	0.0	3.20	38.2	45.5	14.5	1.8	3.18	27.5	62.7	9.8	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0
人権教育	人権に対する指導体制	20	2.94	24.5	47.2	26.4	1.9	3.02	29.1	45.5	23.6	1.8	3.00	25.5	51.0	21.6	2.0	3.02	22.6	60.4	13.2	3.8	
学校間連携	中高大連携事業の実践	○ 21	3.19	35.8	49.1	13.2	1.9	3.29	45.5	40.0	12.7	1.8	3.06	41.2	29.4	23.5	5.9	3.13	32.1	49.1	18.9	0.0	
生徒指導	生徒指導	指導方針の一貫性	22	3.06	26.4	52.8	20.8	0.0	3.02	21.8	61.8	12.7	3.6	2.81	17.3	48.1	32.7	1.9	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8
		家庭との連携状況 組織的な指導体制	23	2.89	18.9	52.8	26.4	1.9	2.91	14.5	65.5	16.4	3.6	2.76	13.7	52.9	29.4	3.9	2.83	18.9	50.9	24.5	5.7
生徒支援	カウンセリング	カウンセリング体制	○ 24	3.42	49.1	43.4	7.5	0.0	3.13	30.9	50.9	18.2	0.0	3.16	31.4	52.9	15.7	0.0	3.19	30.2	58.5	11.3	0.0
		進路指導	25	2.92	15.1	64.2	18.9	1.9	3.05	23.6	60.0	14.5	1.8	3.10	27.5	54.9	17.6	0.0	2.89	17.0	58.5	20.8	3.8
	生徒会活動	部活動支援状況	26	3.25	40.4	46.2	11.5	1.9	3.21	40.4	42.3	15.4	1.9	3.34	44.7	44.7	10.6	0.0	3.29	41.2	49.0	7.8	2.0
		学校行事指導体制	27	3.12	23.1	65.4	11.5	0.0	3.15	28.8	61.5	5.8	3.8	3.09	31.9	48.9	14.9	4.3	3.12	30.0	56.0	10.0	4.0
教員の資質向上	教員の研修活動	校内外における教員研修	○ 28	2.88	17.3	55.8	25.0	1.9	2.87	23.1	44.2	28.8	3.8	2.79	19.1	46.8	27.7	6.4	2.67	13.7	43.1	39.2	3.9
		教員相互の資質向上体制	29	2.65	15.4	40.4	38.5	5.8	2.62	15.4	40.4	34.6	9.6	2.60	6.4	59.6	21.3	12.8	2.41	9.8	37.3	37.3	15.7
その他	国際化	国際理解	30	2.63	9.6	50.0	34.6	5.8	2.45	13.7	37.3	29.4	19.6	2.46	13.0	32.6	41.3	13.0	2.20	8.2	24.5	51.0	16.3

注：○は併設校共通項目 A～Dの数字は全体に占める割合(%) 「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

学校評価(教員対象) —「個人面の自己評価」の年次比較(過去4カ年)—

【資料1-4】

教員 個人面の自己評価																								
分類	大項目	小項目	2016年度					2017年度					2018年度					2019年度						
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D		
学校全般		学園生活																						
学校運営	私学の独自性	教育方針・教育目標	1	2.87	17.0	56.6	22.6	3.8	3.04	22.6	58.5	18.9	0.0	2.96	17.6	64.7	13.7	3.9	2.88	15.7	60.8	19.6	3.9	
		合併の精神・併設校としての使命	2	3.36	43.4	49.1	7.5	0.0	3.28	43.4	43.4	11.3	1.9	3.31	39.2	52.9	7.8	0.0	3.24	31.4	60.8	7.8	0.0	
	教育課程	学習指導要領と年間指導計画	3	3.23	37.7	49.1	11.3	1.9	3.47	58.5	30.2	11.3	0.0	3.22	39.2	43.1	17.6	0.0	3.39	49.0	41.2	9.8	0.0	
		教職員間連携	教員間連携	4	3.08	32.1	45.3	20.8	1.9	3.06	26.4	54.7	17.0	1.9	3.08	25.5	58.8	13.7	2.0	3.06	24.0	58.0	18.0	0.0
	管理職と教員との連携																							
	会議の有効性																							
	情報公開	ホームページの活用	ハラスメントに関する研修																					
			初動対応	6	3.04	30.2	47.2	18.9	3.8	3.30	45.3	41.5	11.3	1.9	3.14	27.5	62.7	5.9	3.9	3.16	33.3	51.0	13.7	2.0
	危機管理	避難訓練や安全対策	地域との連携																					
			分掌と学年	分掌における役割	7	3.25	43.4	41.5	11.3	3.8	3.36	43.4	50.9	3.8	1.9	3.33	41.2	51.0	7.8	0.0	3.37	41.2	54.9	3.9
教育内容	知 育	学年における役割		8	3.06	21.6	62.7	15.7	0.0	3.24	40.0	44.0	16.0	0.0	3.16	32.0	56.0	8.0	4.0	3.14	23.5	68.6	5.9	2.0
		基礎学力の習得	9	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	3.17	37.7	45.3	13.2	3.8	3.08	27.5	54.9	15.7	2.0	3.10	27.5	56.9	13.7	2.0	
		学力向上における組織的な取組	10	3.00	20.8	58.5	20.8	0.0	3.17	37.7	43.4	17.0	1.9	3.27	37.3	52.9	9.8	0.0	3.18	33.3	52.9	11.8	2.0	
		模試や入試問題の活用	11	2.91	26.4	43.4	24.5	5.7	3.04	35.8	35.8	24.5	3.8	3.08	29.4	52.9	13.7	3.9	3.06	27.5	54.9	13.7	3.9	
		スローラーナーへの対応	12	2.49	7.5	39.6	47.2	5.7	2.75	15.1	50.9	28.3	5.7	2.63	15.7	37.3	41.2	5.9	2.57	9.8	41.2	45.1	3.9	
		授業評価の活用	13	2.94	26.4	45.3	24.5	3.8	2.91	18.9	56.6	20.8	3.8	2.94	25.5	47.1	23.5	3.9	2.88	17.6	52.9	29.4	0.0	
	徳 育	保護者との連携	社会規範の理解とモラルの醸成	15	3.25	37.7	49.1	13.2	0.0	3.30	39.6	50.9	9.4	0.0	3.29	45.1	39.2	15.7	0.0	3.16	27.5	62.7	7.8	2.0
			いじめへの対応																					
	体 育	ボランティア活動の推進	健康な身体づくり	16	3.04	28.3	47.2	24.5	0.0	3.29	40.4	48.1	11.5	0.0	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	3.20	33.3	54.9	9.8	2.0
			人権教育	17	3.13	37.7	41.5	17.0	3.8	3.19	34.0	52.8	11.3	1.9	3.14	33.3	49.0	15.7	2.0	3.14	27.5	60.8	9.8	2.0
	学校間連携	中高大連携事業の実践	生徒指導	18	2.94	26.4	47.2	20.8	5.7	3.15	34.0	49.1	15.1	1.9	3.10	33.3	47.1	15.7	3.9	3.06	23.5	60.8	13.7	2.0
			生徒指導	指導方針の一貫性	19	2.96	17.0	66.0	13.2	3.8	3.15	24.5	67.9	5.7	1.9	3.27	33.3	62.7	2.0	2.0	3.20	27.5	66.7	3.9
	生徒支援	カウニング		家庭との連携状況	20	2.91	26.4	41.5	28.3	3.8	2.92	22.6	50.9	22.6	3.8	3.16	29.4	58.8	9.8	2.0	3.04	19.6	66.7	11.8
			組織的な指導体制																					
進路指導		カウニング体制																						
		進路指導体制	21	3.00	20.8	62.3	13.2	3.8	3.04	32.1	41.5	24.5	1.9	3.14	27.5	58.8	13.7	0.0	2.96	21.6	58.8	13.7	5.9	
生徒会活動	部活動支援状況	部活動支援状況	22	3.00	38.5	32.7	25.0	3.8	3.25	37.7	50.9	9.4	1.9	3.25	43.1	41.2	13.7	2.0	3.24	41.2	43.1	13.7	2.0	
		学校行事指導体制	23	3.11	34.0	47.2	15.1	3.8	3.21	35.8	50.9	11.3	1.9	3.33	41.2	52.9	3.9	2.0	3.24	39.2	45.1	15.7	0.0	
教員の資質向上	教員の研修活動	校外における教員研修	24	2.87	28.3	35.8	30.2	5.7	2.94	34.6	32.7	25.0	7.7	2.90	27.5	37.3	33.3	2.0	2.67	17.6	39.2	35.3	7.8	
		教員相互の資質向上体制	25	2.60	15.1	43.4	28.3	13.2	2.65	14.3	44.9	32.7	8.2	2.71	17.6	41.2	35.3	5.9	2.61	11.8	49.0	27.5	11.8	
その他	国際化	国際理解																						

注： 2.99 3.12 3.11 3.07  
「評価」は評価基準(4段階)の平均

評価基準について A(4):そう思う B(3):どちらかといえばそう思う C(2):どちらかといえばそう思わない D(1):そう思わない



2019年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート — 高中別 —

【資料2①】

	設 問 (保護者対象) 20項目	高等学校					中学校					
		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	
1	学園生活	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	3.31	48.4	37.3	11.4	2.8	3.26	41.7	45.5	10.3	2.6
2		保護者として、この学校に入学させて良かったと思われませんか。	3.23	42.9	40.3	13.5	3.3	3.08	32.7	46.2	17.6	3.5
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	2.99	24.0	54.3	17.9	3.8	3.03	25.0	55.4	17.0	2.6
4	HPの活用	本校のホームページは、教育活動を知るために有効だと思われませんか。	2.88	24.2	46.5	22.0	7.3	3.04	29.9	49.2	17.0	3.9
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ確実な対応が行われていると思われませんか。	2.84	23.2	46.9	21.4	8.5	2.93	24.4	49.7	20.5	5.4
6	避難訓練や安全対策	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	2.90	20.9	53.2	21.4	4.5	3.05	26.7	56.3	13.8	3.2
7	学力向上における組織的な取組	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	2.81	21.7	44.5	27.2	6.6	2.78	16.1	54.0	22.2	7.7
8	スローラーナーへの対応	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	2.63	16.1	41.4	32.9	9.6	2.64	15.8	42.8	32.2	9.3
9	保護者との連携	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	2.98	30.5	42.7	21.6	5.2	3.06	29.2	51.3	16.3	3.2
10	社会規範の理解とモラルの醸成	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	3.15	33.7	50.4	13.9	2.0	3.05	26.0	55.4	16.3	2.2
11	いじめへの対応	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	3.05	26.4	54.4	16.8	2.4	2.91	19.6	54.5	23.7	2.2
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	3.21	36.0	51.5	10.8	1.7	3.13	28.9	57.9	10.9	2.3
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	3.12	34.0	48.1	14.6	3.4	3.02	25.4	54.7	17.7	2.3
14	指導方針の一貫性	学校としての明確な方針のもとで生徒指導が行われていると思われませんか。	3.00	26.3	52.0	17.2	4.5	2.88	19.9	53.5	21.8	4.8
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思われませんか。	2.88	24.7	43.9	25.9	5.4	2.90	21.5	51.3	23.4	3.8
16	カウンセリング体制	子供に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていますか。	2.85	21.4	48.1	25.1	5.4	2.85	19.3	50.8	26.7	3.2
17	進路指導體制	一人ひとりの進路を実現するために、きめ細かな進路指導が行われていると思われませんか。	2.88	24.8	45.8	23.0	6.4	2.73	15.2	50.6	28.4	5.8
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の心身の成長が図られるよう学校全体で支援していると思われませんか。	3.17	41.0	40.2	14.3	4.6	2.94	25.4	50.2	18.3	6.1
19	学校行事指導體制	学校行事に対して生徒が積極的に活動できるよう、学校と保護者が協力して取り組んでいると思われませんか。	3.15	33.7	50.0	13.8	2.5	3.18	32.1	54.5	12.5	1.0
20	教員研修体制	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	2.93	24.1	50.0	21.1	4.8	2.88	19.9	54.3	19.9	5.8
21	事務室の対応	本校の事務室の対応(窓口・電話)は適切であり、誠意をもって対応していると思われませんか。	3.37	48.7	41.4	8.0	1.9	3.35	44.9	46.2	7.7	1.3

評価平均	2019年度	3.02	2.99
	2018年度	2.99	2.95
	2017年度	3.03	2.84
	2016年度	3.01	2.88
	2015年度	2.99	2.88
	2014年度	2.98	2.91
	2013年度	3.00	3.05
	2012年度	2.91	2.98

2019年度 学校評価 自己点検・評価項目 保護者対象アンケート(高校) ー過去4カ年比較ー

【資料2-1】

			高等学校																					
			2016年度					2017年度					2018年度					2019年度						
分類	大項目	NO	小項目		評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活		3.34	48.1	40.2	9.7	2.0	3.34	48.6	38.3	11.4	1.7	3.29	46.5	38.7	12.1	2.7	3.31	48.4	37.3	11.4	2.8
		○ 2			3.35	49.0	39.1	9.9	2.0	3.33	48.4	38.9	10.2	2.5	3.23	43.1	40.2	13.7	3.0	3.23	42.9	40.3	13.5	3.3
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標		3.07	24.6	60.5	13.4	1.6	3.06	25.2	58.3	14.0	2.5	3.00	23.2	56.3	17.6	2.9	2.99	24.0	54.3	17.9	3.8
	情報公開	○ 4	HPの活用		2.75	15.6	53.2	22.6	8.5	2.81	18.0	53.6	20.0	8.4	2.79	20.2	48.8	22.5	8.5	2.88	24.2	46.5	22.0	7.3
	危機管理	○ 5	初動対応		3.01	23.2	58.5	14.9	3.4	3.01	24.3	57.2	14.0	4.5	2.70	19.6	44.1	24.8	11.5	2.84	23.2	46.9	21.4	8.5
		○ 6	避難訓練や安全対策		2.91	20.4	54.9	20.1	4.6	2.88	21.1	51.5	22.3	5.1	2.87	18.3	55.3	21.5	5.0	2.90	20.9	53.2	21.4	4.5
教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組		2.92	22.3	51.7	22.3	3.8	2.85	21.8	48.3	23.0	6.9	2.83	23.0	43.8	26.8	6.4	2.81	21.7	44.5	27.2	6.6
		○ 8	スローラーナーへの対応		2.73	16.1	47.5	29.6	6.9	2.68	16.5	43.8	30.6	9.1	2.62	14.3	43.1	32.9	9.7	2.63	16.1	41.4	32.9	9.6
		○ 9	保護者との連携		3.06	29.0	51.4	16.7	2.9	3.01	28.5	48.5	18.6	4.3	2.96	27.6	46.4	20.7	5.3	2.98	30.5	42.7	21.6	5.2
	徳育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成		3.21	33.4	55.1	10.8	0.7	3.16	31.6	55.6	10.6	2.2	3.10	30.3	52.4	14.1	3.1	3.15	33.7	50.4	13.9	2.0
		○ 11	いじめへの対応		3.08	24.4	60.7	13.2	1.7	3.05	24.9	58.7	13.5	2.9	3.04	24.4	57.7	15.7	2.3	3.05	26.4	54.4	16.8	2.4
	○ 12	健康な身体づくり		3.21	33.6	54.8	10.8	0.8	3.23	36.3	51.8	10.7	1.2	3.21	36.3	50.3	11.6	1.7	3.21	36.0	51.5	10.8	1.7	
○ 13	学校間連携		3.14	32.8	51.2	13.8	2.2	3.15	33.5	50.6	13.5	2.4	3.08	31.9	47.7	17.3	3.0	3.12	34.0	48.1	14.6	3.4		
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性		3.08	26.4	58.2	13.1	2.3	3.04	27.7	52.4	16.8	3.1	2.98	24.0	53.8	18.6	3.6	3.00	26.3	52.0	17.2	4.5
		○ 15	家庭との連携状況		2.83	18.6	50.0	28.0	3.4	2.80	20.4	46.0	27.2	6.4	2.76	19.1	45.7	28.5	6.7	2.88	24.7	43.9	25.9	5.4
	○ 16	カウンセリング体制		2.53	23.5	30.1	25.0	21.5	2.46	24.4	24.5	25.7	25.4	2.80	17.5	50.6	26.8	5.1	2.85	21.4	48.1	25.1	5.4	
	○ 17	進路指導体制		2.91	23.9	48.9	22.0	5.2	2.91	25.2	46.9	21.5	6.3	2.89	23.7	47.8	22.3	6.2	2.88	24.8	45.8	23.0	6.4	
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況		3.09	36.0	42.7	15.6	5.7	3.11	38.2	40.9	15.3	5.6	3.18	39.6	43.1	13.9	3.5	3.17	41.0	40.2	14.3	4.6
○ 19		学校行事指導体制		3.14	30.7	54.8	12.4	2.1	3.15	32.3	52.4	12.9	2.4	3.18	35.5	49.0	13.2	2.3	3.15	33.7	50.0	13.8	2.5	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制		2.92	20.9	54.4	20.6	4.1	2.84	19.9	50.2	24.2	5.7	2.87	19.8	51.7	24.1	4.4	2.93	24.1	50.0	21.1	4.8
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応		3.37	46.9	45.3	6.1	1.7	3.37	46.4	46.1	5.5	2.0	3.32	44.0	47.0	6.6	2.4	3.37	48.7	41.4	8.0	1.9

注：○は併設校共通項目

3.03

3.01

2.99

3.02

評価基準について

A: そう思う B: どちらかといえばそう思う C: どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2019年度 学校評価 自己点検・評価項目

保護者対象アンケート(中学校)

—過去4カ年比較—

【資料2-2】

				中学校																			
				2016年度					2017年度					2018年度					2019年度				
分類	大項目	NO	小項目	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.26	44.4	41.4	10.9	3.3	3.30	44.7	43.2	9.6	2.4	3.17	39.0	43.0	13.7	4.3	3.26	41.7	45.5	10.3	2.6
		○ 2		3.05	34.5	44.6	14.3	6.5	3.18	38.6	44.9	12.6	3.9	3.04	32.5	45.7	15.3	6.4	3.08	32.7	46.2	17.6	3.5
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.99	23.4	55.5	19.0	2.1	3.07	22.5	62.8	12.9	1.8	3.08	25.7	59.6	11.9	2.8	3.03	25.0	55.4	17.0	2.6
	情報公開	○ 4	HPの活用	2.79	22.6	43.6	24.6	9.2	2.88	24.0	49.2	18.2	8.5	2.93	26.5	45.1	22.6	5.8	3.04	29.9	49.2	17.0	3.9
	危機管理	○ 5	初動対応	2.88	23.4	48.1	22.0	6.5	2.88	23.5	47.9	21.1	7.5	2.73	22.4	42.6	21.8	13.2	2.93	24.4	49.7	20.5	5.4
		○ 6	避難訓練や安全対策	2.80	20.5	46.4	26.5	6.5	2.81	17.5	50.6	26.2	5.7	2.94	23.1	53.4	17.3	6.2	3.05	26.7	56.3	13.8	3.2
教育内容	知育	○ 7	学力向上における組織的な取組	2.54	17.5	35.0	32.9	14.5	2.74	18.5	46.9	23.6	11.0	2.87	23.1	46.5	23.4	7.0	2.78	16.1	54.0	22.2	7.7
		○ 8	スローラーナーへの対応	2.37	12.8	33.9	33.0	20.2	2.63	20.3	34.3	31.9	13.4	2.72	17.4	44.3	30.3	8.0	2.64	15.8	42.8	32.2	9.3
		○ 9	保護者との連携	2.77	20.5	46.1	25.0	8.3	2.94	23.9	49.0	23.6	3.6	2.98	26.0	50.8	18.7	4.6	3.06	29.2	51.3	16.3	3.2
	徳育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.96	23.8	54.2	17.6	4.5	3.03	24.3	56.6	17.4	1.8	2.93	24.1	52.4	16.8	6.7	3.05	26.0	55.4	16.3	2.2
		○ 11	いじめへの対応	2.89	23.3	49.9	20.9	6.0	2.94	24.3	50.9	19.2	5.7	2.88	21.3	53.0	18.3	7.3	2.91	19.6	54.5	23.7	2.2
	○ 12	健康な身体づくり	3.15	31.5	55.2	11.6	1.8	3.18	31.3	56.3	11.0	1.5	3.16	32.8	53.1	11.0	3.1	3.13	28.9	57.9	10.9	2.3	
○ 13	学校間連携	2.89	26.4	43.9	23.1	6.5	3.08	29.5	52.7	14.8	3.0	3.09	32.1	48.8	16.0	3.1	3.02	25.4	54.7	17.7	2.3		
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	2.80	20.5	48.1	22.8	8.6	2.93	23.1	52.1	20.7	4.2	2.91	22.3	52.7	18.3	6.7	2.88	19.9	53.5	21.8	4.8
		○ 15	家庭との連携状況	2.78	22.9	42.0	27.4	7.7	2.82	18.0	51.4	25.5	5.1	2.91	24.8	46.5	24.2	4.6	2.90	21.5	51.3	23.4	3.8
	○ 16	カウンセリング体制	2.55	29.6	23.0	21.5	26.0	2.40	24.9	23.1	19.8	32.1	2.82	19.8	50.0	23.5	6.7	2.85	19.3	50.8	26.7	3.2	
	○ 17	進路指導体制	2.47	9.9	42.6	34.5	12.9	2.57	11.1	44.9	34.0	9.9	2.69	14.7	48.3	29.1	8.0	2.73	15.2	50.6	28.4	5.8	
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況	2.78	22.3	44.0	24.4	9.2	2.75	22.2	41.7	25.2	10.8	2.82	22.0	46.8	22.6	8.6	2.94	25.4	50.2	18.3	6.1
○ 19		学校行事指導体制	3.02	28.9	49.7	17.6	3.9	3.05	28.1	52.2	16.4	3.3	3.10	30.8	50.3	15.9	3.0	3.18	32.1	54.5	12.5	1.0	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.50	15.1	37.7	32.2	15.1	2.74	15.7	49.1	28.3	6.9	2.89	22.8	49.2	22.5	5.5	2.88	19.9	54.3	19.9	5.8
その他	窓口対応	○ 21	事務室の対応	3.35	46.8	44.7	6.7	1.8	3.37	47.4	44.6	7.0	0.9	3.34	46.9	44.4	6.2	2.5	3.35	44.9	46.2	7.7	1.3

注：○は併設校共通項目

2.84

2.92

2.95

2.99

評価基準について

A: そう思う B:どちらかといえばそう思う C:どちらかといえばそう思わない D: そう思わない

2019年度 学校評価 自己点検・評価項目 生徒対象アンケート ー高中別ー

【資料2②】

	小項目	設 問 (生徒対象) 20項目	高等学校全体					中学校全体				
			評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
1	学園生活	学校生活は楽しいと感じていますか。	3.32	50.5	35.2	10.5	3.8	3.37	52.1	36.0	8.3	3.6
2		この学校に入学して良かったと思いますか。	2.95	30.8	41.8	19.4	7.9	3.19	41.8	39.4	15.5	3.3
3	教育方針・教育目標	本校の教育方針を理解していますか。	2.73	21.3	41.2	26.9	10.6	2.83	23.8	44.0	23.5	8.6
4	HPの活用	本校のホームページは、学校行事などの必要な情報がタイムリーに更新されていますか。	2.68	23.4	35.9	26.7	14.0	2.99	35.7	36.6	18.2	9.5
5	初動対応	事故やトラブルなどに対し、学校は迅速かつ的確な対応が行われていると思いますか。	2.58	21.9	33.8	25.8	18.5	2.91	31.5	37.8	20.5	10.1
6	避難訓練や安全対策	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	3.06	34.9	42.3	17.1	5.7	3.29	47.0	37.5	12.8	2.7
7	学力向上における組織的な取組	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	2.87	23.7	47.5	21.3	7.6	3.14	36.6	44.6	15.2	3.6
8	スローラーナーへの対応	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	2.81	25.1	40.5	24.9	9.5	3.20	42.3	40.2	12.5	5.1
9	保護者との連携	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	3.12	39.3	38.8	16.7	5.1	3.27	47.0	37.5	10.7	4.8
10	社会規範の理解とモラルの醸成	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	3.06	31.9	46.8	16.6	4.7	3.10	33.9	47.0	14.0	5.1
11	いじめへの対応	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	3.00	33.4	40.3	19.2	7.1	2.89	31.3	37.5	20.2	11.0
12	健康な身体づくり	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	3.25	42.3	42.9	12.5	2.3	3.28	45.2	39.6	12.8	2.4
13	中高大連携事業の実践	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	3.18	41.0	40.7	13.3	5.0	3.34	50.3	36.6	9.5	3.6
14	指導方針の一貫性	守るべき学校のルールやマナーについて、よくわかるように説明と指導を受けていますか。	3.08	34.8	43.6	16.7	5.0	3.16	38.1	44.9	12.2	4.8
15	家庭との連携状況	日頃から家庭への連絡など積極的に意思疎通を図っていると思いますか。	2.97	30.2	43.7	19.5	6.5	3.06	33.6	42.6	19.6	4.2
16	カウンセリング体制	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談できる体制ができていると思いますか。	2.93	28.7	42.9	21.6	6.8	2.82	26.2	40.8	22.3	10.7
17	進路指導体制	生徒一人ひとりの進路を実現させるために、きめ細かな進路指導を行っていると思いますか。	3.03	33.3	43.1	17.7	6.0	3.02	32.7	41.4	20.8	5.1
18	部活動支援状況	クラブ活動を通して生徒の成長が図られるよう学校全体で支援していると思いますか。	3.22	44.1	39.0	12.2	4.6	3.16	42.6	37.2	13.7	6.5
19	学校行事指導体制	学園祭などの学校行事に対して、生徒が積極的に活動できるように配慮していると感じますか。	3.27	45.8	38.9	11.9	3.4	3.36	51.5	36.0	9.8	2.7
20	校内外における教員研修	工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	2.82	25.6	41.0	23.4	10.1	3.06	35.4	43.8	11.9	8.9
21	学習環境	本校の施設・設備において、学習、生活、クラブなどの環境は整っていると思いますか。	3.42	55.6	33.8	7.6	2.9	3.39	56.0	31.3	8.4	4.2

評価平均 2019年度	3.02	3.13
2018年度	2.99	3.02
2017年度	3.00	2.88
2016年度	3.00	2.88
2015年度	2.96	2.93
2014年度	2.90	2.89
2013年度	2.87	2.80
2012年度	2.82	2.93
2011年度	2.62	2.89

2018年度 学校評価（生徒対象）アンケート（高校） —3カ年の推移—

【資料2-3】

分類	大項目	NO	小項目	2017年度					学年別評価			2018年度					学年別評価			2019年					学年別評価			
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.24	44.1	40.4	10.7	4.7	3.05	3.30	3.39	3.29	47.2	38.6	9.8	4.4	3.30	3.17	3.40	3.32	50.5	35.2	10.5	3.8	3.25	3.33	3.39	
		○ 2		3.21	29.3	42.8	17.9	10.0	2.67	2.89	3.22	2.95	31.6	41.6	17.4	9.4	3.00	2.79	3.08	2.95	30.8	41.8	19.4	7.9	2.83	2.94	3.08	
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.86	18.2	44.1	26.9	10.7	2.60	2.66	2.86	2.70	19.6	42.4	26.7	11.3	2.74	2.65	2.71	2.73	21.3	41.2	26.9	10.6	2.62	2.81	2.74	
		○ 4		HPの活用	2.88	20.8	40.6	25.9	12.7	2.51	2.72	2.88	2.56	20.4	34.3	26.5	18.8	2.62	2.46	2.61	2.68	23.4	35.9	26.7	14.0	2.87	2.51	2.69
	危機管理	○ 5	初動対応		3.10	26.5	48.4	18.4	6.7	2.82	2.94	3.10	2.50	21.6	30.3	24.9	23.3	2.51	2.40	2.59	2.58	21.9	33.8	25.8	18.5	2.70	2.49	2.58
		○ 6		避難訓練や安全対策	3.31	36.7	43.5	15.9	3.9	2.93	3.17	3.31	2.97	32.3	41.2	18.2	8.3	2.92	2.92	3.09	3.06	34.9	42.3	17.1	5.7	3.05	3.05	3.09
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組		3.08	24.0	44.4	22.8	8.7	2.66	2.80	3.08	2.87	24.7	44.1	24.5	6.7	2.93	2.74	2.93	2.87	23.7	47.5	21.3	7.6	2.73	2.93	2.94
		○ 8		スロラーナーへの対応	3.07	26.2	41.6	23.7	8.5	2.70	2.82	3.07	2.86	26.2	41.7	24.4	7.7	2.89	2.80	2.90	2.81	25.1	40.5	24.9	9.5	2.68	2.82	2.93
		○ 9			保護者との連携	3.12	33.4	44.1	16.3	6.1	2.99	3.04	3.12	3.10	37.5	41.2	15.3	6.0	3.19	3.05	3.05	3.12	39.3	38.8	16.7	5.1	3.16	3.13
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	3.08		28.5	45.6	19.6	6.3	2.87	2.95	3.08	2.97	29.3	44.9	19.4	6.4	3.04	2.86	3.00	3.06	31.9	46.8	16.6	4.7	3.02	3.10	3.05
		○ 11		いじめへの対応	3.09	28.6	42.4	20.8	8.1	2.77	2.90	3.09	3.00	31.9	42.6	18.8	6.7	3.09	2.87	3.04	3.00	33.4	40.3	19.2	7.1	2.86	3.05	3.08
	体 育	○ 12	健康な身体づくり		3.24	40.3	42.0	14.3	3.3	3.16	3.19	3.24	3.19	39.7	44.1	12.0	4.2	3.22	3.11	3.25	3.25	42.3	42.9	12.5	2.3	3.21	3.21	3.34
		○ 13		学校間連携	3.17	35.3	43.7	15.9	5.1	3.04	3.07	3.17	3.16	39.8	41.2	13.8	5.2	3.24	3.04	3.18	3.18	41.0	40.7	13.3	5.0	3.27	3.15	3.11
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性		3.17	32.4	44.7	16.2	6.6	2.94	3.00	3.17	3.09	34.1	46.3	14.6	5.0	3.17	2.97	3.15	3.08	34.8	43.6	16.7	5.0	2.98	3.15	3.09
		○ 15		家庭との連携状況	3.09	26.6	44.3	21.6	7.6	2.72	2.91	3.09	2.91	29.1	40.7	22.3	7.9	3.01	2.75	2.97	2.97	30.2	43.7	19.5	6.5	2.94	3.03	2.94
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制		3.11	31.5	30.7	18.8	18.9	2.43	2.75	3.11	2.91	28.1	42.8	21.7	7.5	2.91	2.80	3.02	2.93	28.7	42.9	21.6	6.8	2.86	2.95	2.98
		○ 17		進路指導	3.21	29.3	46.7	17.9	6.1	2.86	2.93	3.21	3.04	33.2	44.3	16.0	6.6	3.11	2.94	3.07	3.03	33.3	43.1	17.7	6.0	2.95	3.06	3.09
	生徒会活動	○ 18	部活動支援状況		3.27	39.1	40.0	13.1	7.8	3.02	3.05	3.27	3.17	43.5	38.3	10.1	8.0	3.26	3.04	3.22	3.22	44.1	39.0	12.2	4.6	3.18	3.18	3.32
		○ 19		学校行事指導体制	3.29	40.9	40.4	13.2	5.6	3.08	3.14	3.29	3.26	45.7	39.4	10.7	4.2	3.37	3.13	3.29	3.27	45.8	38.9	11.9	3.4	3.22	3.29	3.29
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制		3.15	28.8	43.6	19.6	8.0	2.72	2.94	3.15	2.83	26.9	38.9	24.4	9.8	2.84	2.67	2.98	2.82	25.6	41.0	23.4	10.1	2.64	2.91	2.89
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.45	51.1	33.6	11.2	4.1	3.25	3.26	3.45	3.35	51.7	35.8	8.2	4.2	3.46	3.24	3.35	3.42	55.6	33.8	7.6	2.9	3.42	3.40	3.45	

注：○は併設校共通項目

評価基準について A(4): そう思う B(3): どちらかといえばそう思う C(2): どちらかといえばそう思わない D(1): そう思わない

2018年度 学校評価(生徒対象)アンケート (中学校) —3カ年の推移—

【資料2-4】

分類	大項目	NO	小項目	2017年度(全学年)					学年別評価			2018年度(全学年)					学年別評価			2019年度(全学年)					学年別評価		
				評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年	評価	A	B	C	D	1年	2年	3年
学校生活	満足度	○ 1	学園生活	3.23	47.6	33.6	13.7	5.0	3.39	3.02	3.29	3.27	48.5	36.6	9.0	5.8	3.30	3.34	3.18	3.37	52.1	36.0	8.3	3.6	3.54	3.34	3.18
		○ 2		3.02	35.7	39.0	17.3	8.1	3.27	2.59	3.18	2.96	32.7	40.8	17.1	9.5	3.22	3.09	2.59	3.19	41.8	39.4	15.5	3.3	3.40	3.09	2.59
学校運営	私学の独自性	○ 3	教育方針・教育目標	2.78	22.6	43.9	22.9	10.6	2.99	2.51	2.85	2.82	24.0	44.2	22.2	9.6	2.88	2.88	2.70	2.83	23.8	44.0	23.5	8.6	3.05	2.88	2.70
		○ 4	HPの活用	2.99	35.7	35.4	21.6	7.3	3.14	2.74	3.08	2.86	29.2	38.4	23.1	9.2	2.93	2.89	2.77	2.99	35.7	36.6	18.2	9.5	3.19	2.89	2.77
	危機管理	○ 5	初動対応	2.94	29.3	41.3	23.5	5.9	3.10	2.70	3.02	2.85	29.1	40.3	18.2	12.4	3.05	2.83	2.70	2.91	31.5	37.8	20.5	10.1	3.19	2.83	2.70
		○ 6	避難訓練や安全対策	3.14	43.5	34.3	15.6	6.7	3.29	2.89	3.25	3.16	41.8	38.3	14.7	5.2	3.14	3.23	3.11	3.29	47.0	37.5	12.8	2.7	3.36	3.23	3.11
教育内容	知 育	○ 7	学力向上における組織的な取組	3.01	33.1	42.3	16.8	7.8	3.16	2.73	3.11	2.92	27.3	45.1	20.6	7.0	2.98	3.08	2.71	3.14	36.6	44.6	15.2	3.6	3.23	3.08	2.71
		○ 8	スローラーナーへの対応	3.04	37.8	36.4	17.9	7.8	3.36	2.63	3.13	3.05	35.9	41.2	15.4	7.5	3.09	3.17	2.89	3.20	42.3	40.2	12.5	5.1	3.30	3.17	2.89
		○ 9	保護者との連携	3.11	42.6	34.3	15.0	8.1	3.36	2.88	3.10	3.14	38.6	42.7	13.5	5.2	3.21	3.14	3.07	3.27	47.0	37.5	10.7	4.8	3.51	3.14	3.07
	徳 育	○ 10	社会規範の理解とモラルの醸成	2.93	30.3	41.3	19.1	9.3	3.15	2.66	2.97	2.93	28.3	44.8	19.4	7.5	3.05	2.98	2.77	3.10	33.9	47.0	14.0	5.1	3.23	2.98	2.77
		○ 11	いじめへの対応	2.77	28.3	36.4	21.3	14.0	2.97	2.46	2.88	2.71	24.8	37.5	22.5	15.3	2.95	2.81	2.39	2.89	31.3	37.5	20.2	11.0	3.02	2.81	2.39
	体 育	○ 12	健康な身体づくり	3.19	42.3	40.3	12.3	5.0	3.40	2.88	3.28	3.16	38.4	43.6	14.8	3.2	3.16	3.18	3.15	3.28	45.2	39.6	12.8	2.4	3.46	3.18	3.15
	学校間連携	○ 13	中高大連携事業の実践	3.29	50.1	35.6	8.7	5.6	3.54	3.01	3.32	3.28	48.1	36.6	11.0	4.3	3.26	3.42	3.15	3.34	50.3	36.6	9.5	3.6	3.42	3.42	3.15
生徒指導・生徒支援	生徒指導	○ 14	指導方針の一貫性	3.05	35.9	41.2	14.8	8.1	3.36	2.59	3.18	3.10	37.6	41.6	13.6	7.2	3.14	3.19	2.97	3.16	38.1	44.9	12.2	4.8	3.30	3.19	2.97
		○ 15	家庭との連携状況	2.92	28.8	41.8	21.5	7.9	3.01	2.75	2.98	2.97	30.8	43.5	17.9	7.8	3.02	3.01	2.90	3.06	33.6	42.6	19.6	4.2	3.27	3.01	2.90
	カウンセリング	○ 16	カウンセリング体制	2.75	37.6	23.0	16.3	23.0	2.34	2.68	3.18	2.76	25.1	38.3	25.4	11.2	2.75	2.71	2.83	2.82	26.2	40.8	22.3	10.7	2.91	2.71	2.83
	進路指導	○ 17	進路指導体制	2.89	29.9	38.5	22.3	9.2	3.06	2.59	3.01	2.85	29.3	38.6	21.2	11.0	2.87	2.94	2.75	3.02	32.7	41.4	20.8	5.1	3.01	2.94	2.75
		○ 18	部活動支援状況	2.95	33.0	38.8	18.4	9.8	3.21	2.56	3.06	2.99	35.7	38.6	15.9	9.9	3.19	2.96	2.84	3.16	42.6	37.2	13.7	6.5	3.28	2.96	2.84
生徒会活動	○ 19	学校行事指導体制	3.22	46.1	36.5	11.2	6.2	3.50	2.96	3.20	3.23	43.2	40.9	12.2	3.8	3.27	3.30	3.11	3.36	51.5	36.0	9.8	2.7	3.50	3.30	3.11	
	○ 20	教員研修体制	2.85	28.9	38.5	20.8	11.8	2.98	2.55	2.99	3.07	39.4	35.9	18.1	6.7	3.15	3.16	2.92	3.06	35.4	43.8	11.9	8.9	3.03	3.16	2.92	
教員研修	教員の研修活動	○ 20	教員研修体制	2.85	28.9	38.5	20.8	11.8	2.98	2.55	2.99	3.07	39.4	35.9	18.1	6.7	3.15	3.16	2.92	3.06	35.4	43.8	11.9	8.9	3.03	3.16	2.92
その他	校内環境	○ 21	学習環境	3.24	50.9	30.2	10.7	8.3	3.37	3.00	3.32	3.34	53.8	32.9	6.9	6.3	3.36	3.32	3.35	3.39	56.0	31.3	8.4	4.2	3.47	3.32	3.35

注：○は併設校共通項目

評価基準について

4: そう思う 3: どちらかといえばそう思う 2: どちらかといえばそう思わない 1: そう思わない

2019年度 授業評価分析資料(教科別)

2019年11月実施

関西大学北陽高等学校・中学校

【資料3-1】

設問\評価	国語					社会					数学					理科					英語				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.30	3.36	3.35	3.34	3.50	3.37	3.45	3.44	3.45	3.51	3.30	3.27	3.36	3.39	3.46	3.43	3.45	3.39	3.57	3.44	3.33	3.26	3.30	3.36	3.45
1	3.64	67.8%	29.0%	3.0%	0.3%	3.69	72.9%	24.1%	2.4%	0.6%	3.65	68.6%	28.5%	2.6%	0.4%	3.62	65.9%	30.0%	3.9%	0.2%	3.63	66.4%	29.7%	3.7%	0.1%
2	3.61	66.6%	28.1%	4.9%	0.4%	3.74	78.6%	17.4%	3.5%	0.4%	3.48	58.5%	31.6%	8.9%	1.0%	3.49	56.4%	36.7%	6.4%	0.4%	3.52	59.3%	33.9%	6.7%	0.1%
3	3.25	49.9%	29.9%	15.3%	4.9%	3.08	40.7%	33.3%	19.0%	6.9%	3.26	50.0%	30.4%	15.4%	4.3%	3.22	48.0%	30.4%	17.1%	4.5%	3.19	45.5%	32.1%	17.9%	4.5%
授業評価	3.38	3.47	3.49	3.45	3.61	3.58	3.52	3.50	3.59	3.65	3.43	3.48	3.46	3.62	3.64	3.57	3.58	3.60	3.74	3.62	3.49	3.42	3.37	3.49	3.63
4	3.60	69.6%	22.7%	5.6%	2.1%	3.66	72.0%	22.7%	4.4%	0.9%	3.65	72.5%	21.4%	5.0%	1.1%	3.60	68.8%	23.5%	6.1%	1.6%	3.69	74.9%	20.5%	3.2%	1.5%
5	3.68	73.3%	22.2%	3.7%	0.8%	3.76	79.7%	17.0%	3.1%	0.1%	3.74	76.7%	21.1%	1.8%	0.4%	3.67	72.6%	22.6%	3.9%	0.8%	3.65	71.7%	22.7%	4.7%	0.9%
6	3.59	67.4%	26.0%	5.0%	1.5%	3.62	70.2%	23.6%	4.4%	1.8%	3.63	69.8%	24.4%	4.6%	1.1%	3.59	68.6%	23.4%	6.2%	1.8%	3.61	68.8%	24.5%	5.4%	1.3%
7	3.49	65.0%	23.6%	7.2%	4.2%	3.62	71.2%	21.7%	4.9%	2.2%	3.63	69.9%	24.7%	3.9%	1.5%	3.63	71.2%	22.0%	5.3%	1.6%	3.61	71.5%	20.3%	5.6%	2.5%
8	3.65	71.9%	22.5%	4.6%	1.0%	3.70	73.4%	23.8%	2.4%	0.4%	3.65	70.2%	25.0%	3.8%	1.0%	3.67	71.1%	25.0%	3.5%	0.4%	3.70	76.2%	19.2%	3.4%	1.4%
9	3.63	70.2%	23.6%	5.0%	1.2%	3.68	72.8%	23.0%	3.4%	0.7%	3.67	72.1%	23.3%	4.0%	0.6%	3.59	66.7%	26.5%	5.8%	1.0%	3.54	64.4%	26.9%	7.2%	1.4%
10	3.63	69.7%	24.2%	5.3%	0.8%	3.72	75.9%	20.9%	2.7%	0.6%	3.70	74.3%	22.1%	2.9%	0.7%	3.71	74.9%	22.0%	2.7%	0.4%	3.70	74.6%	21.6%	3.0%	0.8%
11	3.60	68.5%	24.8%	5.3%	1.4%	3.62	68.6%	25.3%	5.0%	1.0%	3.70	73.8%	23.0%	2.6%	0.6%	3.67	71.7%	25.1%	1.9%	1.2%	3.67	73.2%	21.7%	4.2%	0.9%
12	3.68	74.5%	20.1%	4.0%	1.5%	3.72	76.5%	19.5%	3.2%	0.7%	3.63	68.9%	26.7%	3.3%	1.1%	3.65	70.0%	25.5%	4.5%	0.0%	3.68	73.2%	22.4%	3.1%	1.2%
13	3.69	75.2%	20.2%	2.7%	1.9%	3.59	67.9%	24.9%	6.1%	1.2%	3.60	67.8%	25.8%	5.0%	1.3%	3.65	70.8%	24.6%	3.9%	0.8%	3.68	74.0%	20.8%	4.3%	0.8%
14	3.56	66.6%	24.5%	6.9%	1.9%	3.59	67.6%	25.1%	5.5%	1.8%	3.46	58.7%	31.2%	7.6%	2.6%	3.52	63.3%	27.5%	7.4%	1.8%	3.50	61.1%	29.5%	8.3%	1.2%
15	3.58	66.8%	26.7%	4.8%	1.8%	3.57	65.5%	27.1%	6.1%	1.3%	3.61	67.6%	26.9%	4.2%	1.3%	3.55	63.5%	29.9%	5.3%	1.4%	3.59	66.7%	26.7%	5.5%	1.1%
16	3.59	66.8%	27.0%	4.7%	1.5%	3.60	68.7%	25.2%	3.9%	2.3%	3.60	67.7%	26.3%	4.5%	1.5%	3.56	65.5%	25.5%	7.9%	1.0%	3.57	64.9%	28.6%	4.9%	1.6%

設問\評価	保健体育					芸術					情報					技術・家庭				
	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D	評価	A	B	C	D
自己評価	3.56	3.56	3.71	3.64	3.71	3.31	3.65	3.58	3.55	3.37	3.74	3.77	3.77	3.80	3.84	3.77	3.68	3.60	3.68	3.74
1	3.85	86.1%	12.8%	0.7%	0.4%	3.69	70.0%	28.8%	1.3%	0.0%	3.87	89.9%	8.7%	0.0%	1.4%	3.91	92.3%	6.4%	1.3%	0.0%
2	3.81	83.5%	14.7%	1.2%	0.6%	3.58	60.0%	37.5%	2.5%	0.0%	3.86	85.5%	14.5%	0.0%	0.0%	3.86	88.5%	10.3%	0.0%	1.3%
3	3.47	59.9%	29.2%	8.6%	2.4%	2.84	27.5%	37.5%	26.3%	8.8%	3.78	82.6%	14.5%	1.4%	1.4%	3.44	62.3%	24.7%	7.8%	5.2%
授業評価	3.62	3.62	3.74	3.72	3.75	3.06	3.69	3.46	3.66	3.44	3.80	3.80	3.70	3.80	3.89	3.78	3.72	3.68	3.72	3.73
4	3.80	83.5%	13.6%	1.8%	1.1%	3.75	80.0%	16.3%	2.5%	1.3%	3.94	95.7%	2.9%	1.4%	0.0%	3.85	88.5%	7.7%	3.8%	0.0%
5	3.80	82.7%	15.0%	1.8%	0.6%	3.53	60.0%	32.5%	7.5%	0.0%	3.90	92.8%	4.3%	2.9%	0.0%	3.77	79.2%	18.2%	2.6%	0.0%
6	3.74	78.7%	17.8%	2.5%	1.0%	3.46	54.4%	38.0%	6.3%	1.3%	3.91	92.8%	5.8%	1.4%	0.0%	3.82	84.6%	12.8%	2.6%	0.0%
7	3.71	77.6%	17.1%	3.4%	1.8%	3.36	56.3%	30.0%	7.5%	6.3%	3.91	94.2%	2.9%	2.9%	0.0%	3.36	62.8%	17.9%	11.5%	7.7%
8	3.80	82.9%	14.5%	2.0%	0.6%	3.39	55.0%	31.3%	11.3%	2.5%	3.88	89.9%	8.7%	1.4%	0.0%	3.65	71.8%	21.8%	6.4%	0.0%
9	3.73	78.8%	16.6%	3.3%	1.3%	3.45	61.3%	25.0%	11.3%	2.5%	3.90	92.8%	4.3%	2.9%	0.0%	3.74	80.8%	14.1%	3.8%	1.3%
10	3.77	79.9%	17.2%	2.4%	0.5%	3.49	56.3%	36.3%	7.5%	0.0%	3.91	92.8%	5.8%	1.4%	0.0%	3.86	88.5%	9.0%	2.6%	0.0%
11	3.74	78.9%	17.1%	3.0%	1.1%	3.46	57.5%	32.5%	8.8%	1.3%	3.86	87.0%	11.6%	1.4%	0.0%	3.82	84.6%	12.8%	2.6%	0.0%
12	3.76	80.2%	16.5%	2.5%	0.8%	3.49	58.2%	35.4%	3.8%	2.5%	3.83	85.5%	11.6%	2.9%	0.0%	3.81	82.1%	16.7%	1.3%	0.0%
13	3.67	72.6%	22.7%	3.9%	0.8%	3.00	33.8%	41.3%	16.3%	8.8%	3.87	89.9%	7.2%	2.9%	0.0%	3.59	67.9%	23.1%	9.0%	0.0%
14	3.73	77.7%	18.7%	2.5%	1.1%	3.20	44.3%	38.0%	11.4%	6.3%	3.78	84.1%	10.1%	5.8%	0.0%	3.65	73.1%	19.2%	7.7%	0.0%
15	3.75	78.6%	18.1%	2.7%	0.6%	3.51	58.2%	35.4%	5.1%	1.3%	3.88	88.2%	11.8%	0.0%	0.0%	3.76	78.9%	18.4%	2.6%	0.0%
16	3.76	80.3%	16.5%	2.4%	0.8%	3.65	68.8%	27.3%	3.9%	0.0%	3.93	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	3.74	78.9%	17.1%	2.6%	1.3%

※自己評価と授業評価  
黄色の帯のところは、過去5年間の推移  
2015年→2016年→2017年→2018年→2019年

※A～Dの数値は構成比  
単位は%

No.	設 問 △は実習科目における設問	高等学校					中学校				
		評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)	評価	A(4)	B(3)	C(2)	D(1)
生徒自身の自己評価		自己評価平均値:3.43 (昨年 3.42)					自己評価平均値: 3.12(昨年 3.25)				
1	あなたはこの授業にまじめに出席し、意欲的に取り組みましたか。	3.75	77.5%	20.2%	2.2%	0.2%	3.52	56.6%	39.2%	3.6%	0.6%
2	あなたはこの授業で出された宿題や課題を自分の力でこなすことができましたか。	3.68	73.0%	22.5%	4.1%	0.4%	3.44	53.3%	38.1%	7.7%	0.9%
3	あなたはこの授業でわからない点があっても、先生に質問するなどしてわかる努力をしましたか。	3.37	56.2%	28.5%	11.8%	3.5%	2.88	29.4%	37.2%	25.5%	7.9%
教員に対する授業評価		授業評価平均値:3.55 (昨年 3.52)					授業評価平均値:3.45 (昨年 3.42)				
4	担当の先生は、授業の開始の時刻と終了の時刻を守っていましたか。	3.71	77.0%	18.3%	3.8%	1.0%	3.58	67.7%	24.8%	5.2%	2.3%
5	担当の先生は、授業のねらいをはっきりと示し、テーマに沿って授業を展開していましたか。	3.75	78.9%	17.8%	2.8%	0.5%	3.63	68.6%	26.4%	4.2%	0.8%
6	担当の先生の説明は、ていねいでわかりやすかったですか。	3.67	74.1%	20.3%	4.4%	1.1%	3.53	61.7%	31.5%	4.9%	1.9%
7	担当の先生は、生徒に対して公平に接していましたか。	3.68	75.5%	18.8%	4.1%	1.6%	3.40	57.6%	29.3%	8.2%	4.9%
8	担当の先生は、熱意をもって授業にのぞんでいるように感じましたか。	3.73	78.0%	18.2%	3.3%	0.6%	3.57	63.5%	31.2%	3.9%	1.4%
9	板書の文字や図は、授業の要点をうまくまとめ、みやすかったですか。	3.65	72.1%	21.9%	4.9%	1.1%	3.55	61.8%	31.9%	5.6%	0.8%
	△担当の先生は、危機管理に気を配り、生徒一人ひとりの安全に対して配慮していましたか。	3.75	81.0%	14.4%	3.6%	1.0%	3.56	66.7%	25.3%	5.4%	2.7%
10	担当の先生は、授業中の質問に対して適切に答えていましたか。	3.76	79.9%	17.0%	2.6%	0.5%	3.53	60.1%	33.8%	5.1%	1.1%
11	担当の先生は、生徒が個別に質問や相談に行っても、適切に対応してくれましたか。	3.72	76.7%	19.6%	3.2%	0.6%	3.46	56.1%	35.9%	5.9%	2.2%
	△担当の先生は、自ら模範演技を見せたり、生徒の優れた作品などを見せていましたか。	3.78	81.9%	15.0%	2.5%	0.6%	3.48	60.8%	29.6%	7.0%	2.7%
12	担当の先生は、私語をする生徒には注意をし、寝ている生徒は起こすなど、毅然と接していましたか。	3.73	76.7%	19.8%	2.9%	0.6%	3.52	61.3%	31.3%	5.5%	1.8%
	△担当の先生は、集中しない生徒、勝手な行動をする生徒などに対して毅然と指導していましたか。	3.75	79.5%	17.0%	2.6%	0.7%	3.74	76.9%	20.4%	2.2%	0.5%
13	担当の先生は、生徒に質問や発言を促し、参加・対話型の授業になっていましたか。	3.69	75.0%	19.9%	4.1%	0.9%	3.51	60.5%	32.3%	5.2%	2.1%
	△担当の先生は、一人ひとりの理解に応じて個別に対応するような指導をしていましたか。	3.69	74.6%	20.2%	4.4%	0.8%	3.34	50.5%	37.1%	8.6%	3.8%
14	授業のスピードや難易度については適度に感じましたか。	3.56	66.3%	25.5%	6.3%	1.9%	3.42	54.9%	33.8%	9.4%	1.8%
	△担当の先生は、グランドの整備、教室の美化などについて気を配っていましたか。	3.74	78.4%	17.8%	2.8%	1.0%	3.47	60.5%	28.6%	8.1%	2.7%
15	あなたはこの授業でその科目の知識や考え方を培い、学力向上の役に立ったと感じますか。	3.62	69.7%	24.0%	5.0%	1.2%	3.47	56.3%	36.5%	5.4%	1.7%
	△あなたはこの授業に出て、その科目の技術の習得向上に役に立ったと感じますか。	3.77	79.9%	17.4%	2.3%	0.5%	3.61	67.6%	26.5%	4.9%	1.1%
16	総合的に判断して、この担当の先生の授業に対する満足度はどのくらいですか。	3.68	73.9%	21.2%	3.8%	1.1%	3.46	57.2%	34.3%	6.2%	2.3%